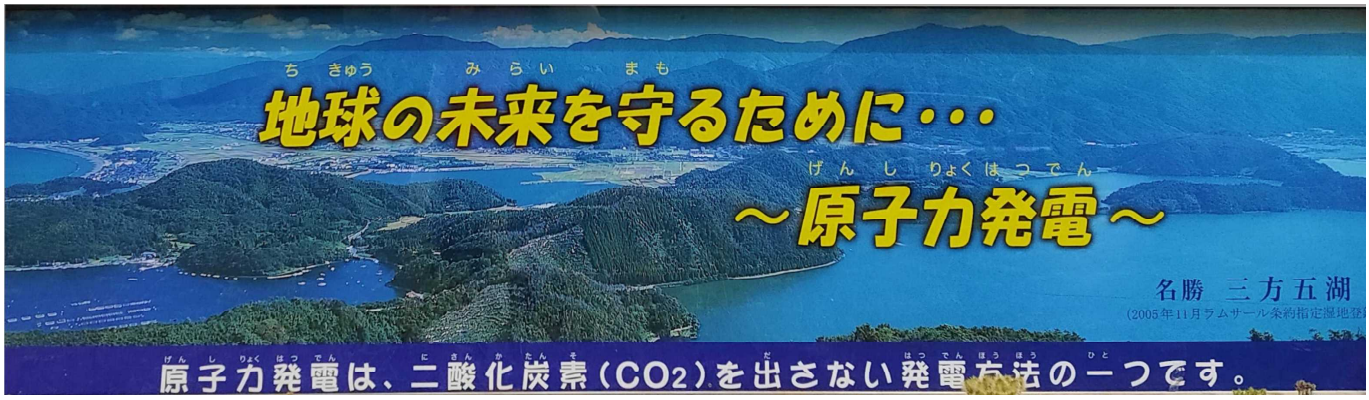
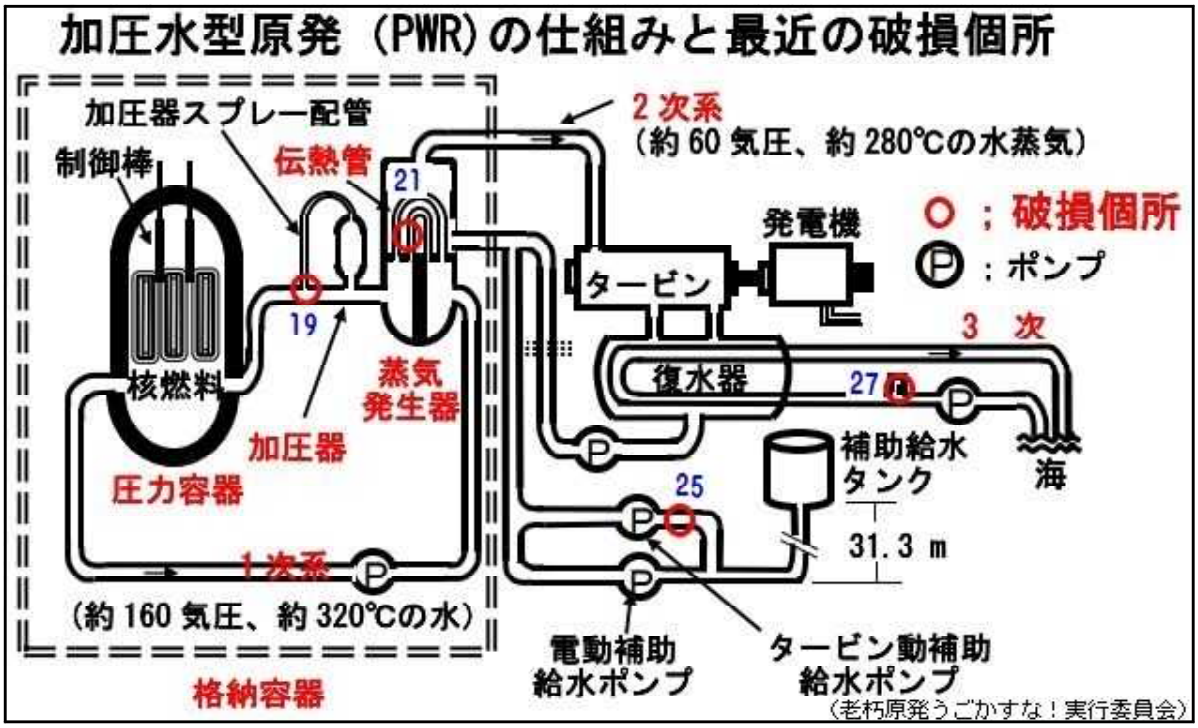
関西電力／その本当の姿！

万が一にも重大事故を起こしてはならない
原発企業をめぐる
闇歴史の数々！



▲2050年カーボンニュートラルにかこつけて生き残りに必死の関電（美浜町にて）



◆上図の破損個所

(1) 復水器配管の空気抜き弁支管 → 上図、青字 27 の個所 → p.12 ◆27◆
(2) タービン動補助給水ポンプ →→ 上図、青字 25 の個所。フィルター目詰まり → p.14 ◆25◆
(3) 蒸気発生器伝熱細管 →→→→→ 上図、青字 21 の個所 → p.16 ◆21◆
(4) 加圧器スプレイ配管 →→→→→ 上図、青字 19 の個所 → p.18 ◆19◆

◆も く じ◆

◆ 37 ◆【2021/11/18 新規追加】朝日新聞ネット記事へのリンク ---------- p. 3
(1) 関電のドン側近 内藤千百里が語った元森山栄治助役
(2) 関電が能登で原発計画 立地「工作班」の証言
◆ 36 ◆【2021/11/12 新規追加】関電のカネと社内権力抗争【付 総括原価方式】 ------ p. 3
◆ 35 ◆【2021/11/12 新規追加】関電と元高浜町助役、癒着の闇
～金品問題発覚後も元助役側から高値で土地を賃借 ---------- p. 5
◆ 34 ◆【2021/11/12 新規追加】関電と元高浜町助役、癒着の闇
～原発の残土工事で増額分を関電が負担 ---------- p. 5
◆ 33 ◆ 老朽美浜3号機、内部告発やトラブルが続く ---------- p. 6
◆ 32 ◆ 送電線保安業務で架空発注のコンプライアンス違反 ---------- p. 8
◆ 31 ◆ 関電は美浜3号機の使用済み燃料の交換可能年数を2倍に水増し ---------- p. 8
◆ 30 ◆ 関電とゾンビ企業・日本原電との腐った関係 ---------- p. 9
◆ 29 ◆【2021/11/14 一部追加】関西電力労働組合はどうか、労組の役割はどこに？ p. 10
◆ 28 ◆ コロナクラスター発生でも原発は運転 ---------- p. 11
◆ 27 ◆ 配管に4cmの穴でも運転継続 ---------- p. 12
◆ 26 ◆ 裁判では老朽化の原データ提出を拒否【付 中性子照射脆化(ぜいか)】 ---------- p. 13
◆ 25 ◆ 美浜3号機の「フィルター目詰まり」の重大な意味 ---------- p. 14
◆ 24 ◆ カルテルの疑いで二度の立ち入り検査 ---------- p. 15
◆ 23 ◆ 杜撰なアスベストの処理 ---------- p. 15
◆ 22 ◆ 違法な資格取得 ---------- p. 15
◆ 21 ◆ 蒸気発生器で伝熱細管の損傷が多発 ---------- p. 16
◆ 20 ◆ クチコミサイトにみる関電社員の声 ---------- p. 17
◆ 19 ◆ 配管溶接部に深い傷があっても運転継続を主張 ---------- p. 18
◆ 18 ◆ 原発マネー不正還流、最悪の幹部腐敗
【付 幹部20人の不正受領金額、責任追及裁判】 ---------- p. 18
◆ 17 ◆ 役員報酬等の闇補填で、国税局から追徴課税 ---------- p. 21
◆ 16 ◆ 卸電力市場で価格暴騰を引きおこす ---------- p. 21
◆ 15 ◆ 市民団体との対応拒絶、欠ける「お客様」概念 ---------- p. 22
◆ 14 ◆ 福井県知事はドタバタ劇を演ずるダイコン役者【付 エネ庁の暗躍】 -------- p. 22
◆ 13 ◆ さんざん高浜町に迫った挙げ句に再稼働できず ---------- p. 23
◆ 12 ◆ 中間貯蔵候補地で何回もくりかえす空約束 ---------- p. 24
◆ 11 ◆ 特命発注で地元企業に特別の便宜 ---------- p. 24
◆ 10 ◆ 安全文化の欠如でクレーン倒壊 ---------- p. 25
◆ 09 ◆ 再稼働を急ぐ老朽原発で人身事故が多発 ---------- p. 25
◆ 08 ◆ 社長が「労災防止」を誓った3日後にも重傷労災 ---------- p. 26
◆ 07 ◆ 裁判にみる関西電力の劣化～地下構造図の縮尺を１：４にして提出 -------- p. 27
◆ 06 ◆ 大飯原発1、2号機の突然の廃炉決定 ---------- p. 27
◆ 05 ◆【2021/11/11 一部追加】『関西電力 反原発町長 暗殺指令』 ---------- p. 28
◆ 04 ◆ 美浜原発3号機で 死亡5名、重軽傷6名の重大事故 ---------- p. 29
◆ 03 ◆ 高浜原発用のMOX燃料製造データ改ざんを隠ぺい【付 MOX燃料】 ---------- p. 30
◆ 02 ◆ 美浜原発2号機で緊急炉心冷却装置（ECCS）が作動 ---------- p. 34
◆ 01 ◆ 美浜原発1号機で核燃料棒が折損するも隠ぺい ---------- p. 35

◆この冊子の内容を掲載しているWebサイトについて ---------- p. 36

◆37◆朝日新聞ネット記事へのリンク

(1) 関電のドン側近 内藤千百里が語った元森山栄治助役
(2) 関電が能登で原発計画 立地「工作班」の証言

関電のドン側近が語った元助役「知事を脅すおっさん」

内藤千百里（ちもり）元副社長（2018 年死去）と森山栄治氏（2019 年死去）
↓
https://www.asahi.com/articles/ASMDC3T3QMDCPTIL00D.html（2019 年 12 月）
（内藤千百里元副社長について詳しくは →◆36◆）

原発と関電マネー　立地「工作班」の証言

（全5回）

石川県・能登半島の最北端で、かつて関西電力が進めた原発計画。現地で展開された数々の「工作活動」を元社員が証言。原発立地をめぐる電力会社の水面下の動きとは。

第 1 回　原発立地「工作班」元社員に接触「来ると思っていた」
第 2 回　原発反対派と対立「土地は買わず借りる」元課長の証言
第 3 回　立地対策は「潜水艦と同じや」関電元幹部が明かす手の内
第 4 回　サラリーマンがする仕事でない　関電元社員「工作」証言
第 5 回　飲み代も車代も「カーさん」持ち　関電去っても残った傷

→ https://www.asahi.com/rensai/list.html?id=1091
（2020 年 8 月）

◆36◆関電のカネと社内権力抗争

ここでは、以下の 2 冊の本を紹介。
『原発利権を追う』 朝日新聞特別報道部／著 ― 朝日新聞出版
『社長解任』有森 隆／著 ― さくら舎

『原発利権を追う』

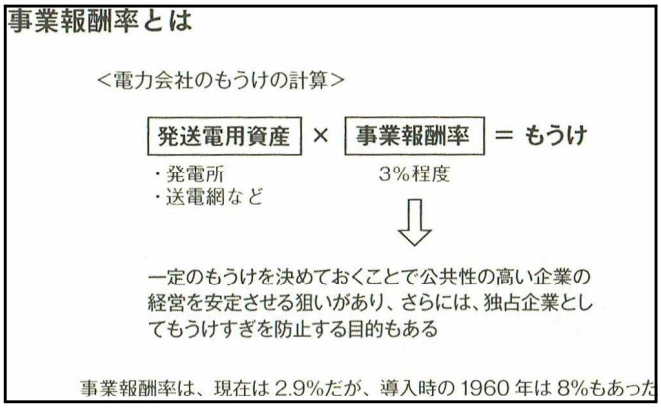
2014 年 9 月に発行。第 7 章が“「関電の裏面史」独白”で、内藤千百里（ちもり、1923 ～ 2018 年）元関西電力代表取締役副社長がとりあげられている。政界との結びつきが強い電力業界にあって、内藤は「電力の政治部長」との異名を取り、関西の政治がらみの話はすべて取り仕切ったと言われる陰の実力者であった。その彼が、朝日新聞の取材に応じ、2013 年 12 月から 2014 年 7 月にかけて延べ 69 時間にわたって関電の政界工作を証言した。

それによると、少なくとも 1972 年から 18 年間、歴代現職内閣総理大臣 7 人（田中角栄・三木武夫・福田赳夫・大平正芳・鈴木善幸・中曽根康弘・竹下登）や自由民主党有力者らに「盆暮れのあいさつ」として年 2 回 200 ～ 1000 万円ずつ政治献金する慣行があった、政界全体に配付した資金は年間数億円

に上った、電力各社は 1974 年に企業献金廃止宣言をしたものの水面下で献金を続けた、という。原発依存度の高い関電にとって円滑に原発導入を進める上で政界工作が重要だった、原資はすべて電気料金で、「一に電力の安泰、二に国家の繁栄」のために

「漢方薬のように時間をかけて効果が出ることを期待していた」、などと語っている。そして、献金も宴席代もすべて電気料金からで、“玉手箱”と言っている。

事業報酬率（→下記【**参考**】**総括原価方式**）から簡単に利益が出てくる。
右の図は本書 p.229 より。



『社長解任～権力抗争の内幕』

2016 年 2 月発行。第 2 章が“関西電力ーー長期独裁政権転覆のクーデター”。突然の解任動議が出されてクビになったのは関電のドンの芦原義重・代表取締役名誉会長と、懐刀の内藤千百里（ちもり）副社長。芦原は相談役名誉会長に棚上げになり、内藤は関電産業（現・関電不動産）の社長に飛ばされた。関電は「芦原－内藤体制」と言われ、会長や社長をしのぐ権力を握っていた。

本章の締めくくりは、以下の通り。
株式会社は業績がすべてだ。…ところが、電力料金の集金人と発電所の技術者で成り立つ電力会社は、トップを誰にするかを業績と無関係に決めている。誰にくっついて引き立ててもらえるかが決め手となる。役員は御殿女中のようなものだ。役員たちが三度のメシより好きな人事抗争に明け暮れるのはこのためだ。長期政権の果ての人事抗争は、まさに関電の病理そのものだった。

その権力構造については、“腐蝕企業”関西電力…公益企業を私物化した歴代経営陣の「飽くなき人事抗争」のサイトにも詳しい。
その一部↓
社内に張りめぐらされた内藤特務機関＜その内部は真っ暗闇で、外からはもちろん、内部の人間にもどうなっているのかさっぱりわからない。とりわけ人事は密室人事である＞。龍谷大学教授だった奥村宏は、「朝日ジャーナル」（1986 年 9 月 12 日号）の「関西電力　暗黒大陸」で、こう書いた。……長期政権の果ての人事抗争は、まさに関電の病理そのものだった。

【参考】総括原価方式とは

関電など大手電力は、事業報酬率をもちいた利益確保、総括原価方式によって、富と権力を集中してきました。

総括原価方式…経費の 3 %とかを自動的に利益にできる。経費を節約して利益を出すのではなくて、経費を増やして利益を増やす。5000 億円の原発を何基つくっても、経営リスクがない。そして経費を節減するどころか、経費を水増して大量の購入物品を調達してきた。こうして大手電力は、どの地域でも、その地域の財界のお殿様になって大きな顔をしています。関電の場合、水増し発注は、受注者（元高浜町助役など）の懐を経て、関電経営者とりわけ原発部門幹部の懐をうるおしてきました。

電気料金は、税金みたいに強制的に支払わされます。大手電力は、消費者の電気料金でつくった発電

施設、送配電網を独占し、それだけでなく再エネ普及を妨げ、原発温存の基盤となっています。

どんな経営をしても自動的に利益を確保できる中で育ってきた電力会社の経営者には、経営能力はない。どこに行ってもお殿様だから、チヤホヤされる。経費は使い放題、巨額の賄賂をもらっても、預かっただけだと平気で言える厚顔さも、こうした特異な経営者だからこそ。

◆35◆関電と元高浜町助役、癒着の闇 ～金品問題発覚後も元助役側から高値で土地を賃借

原発をもつ関西電力と、原発地元の実力者だった高浜町元助役森山栄治氏（19 年に死去）との癒着の闇は深い。関西電力の元役員らが福井県高浜町の元助役から金品を受領する一方で、原発関連工事での便宜を図っていた。その一つとして 2021 年 6 月 7 日朝日新聞に報道されたのが、「関電が元助役側から高値で土地を賃借」という問題。

関電は 2016 年から、元助役関係会社の所有地を資機材置き場として高値で借りていた。それによって元助役関係会社側が得る収入は相場の 2 倍超。なお、関電関係者によると、社内で賃料の高さが指摘され、関電はこの賃貸借契約を 2021 年 3 月に解除したという。

金品受領問題を調べた第三者委員会の報告書によると、関電は 16 年 7 月、森山氏が経営に関与した土木建築会社「吉田開発」の関係会社であったゴルフ練習場運営会社が所有していた町内の土地 13,000 平方ｍの賃貸借契約を結んだ。賃料は月額 120 万円だった。この土地の実勢価格は当時、1 平方ｍが約 8,000 円であったが、関電は 20,000 円と設定した。このため、関係会社側が土地を貸して得られる年間の賃料収入の利回りは、相場の 5%前後を上回る約 14%であったという。

なお、この土地は、町の土地台帳によると、関電は 1988 年にこの土地を購入し、05 年に吉田開発の関係会社に売却されたという。その後、警備会社など森山氏関係会社間で転売された。関電は売った土地を後に高値で借りたことになる。

↓

https://www.asahi.com/articles/ASP666SNSP62PTIL009.html?iref=pc_rellink_03）

◆34◆関電と元高浜町助役、癒着の闇 ～原発の残土工事で増額分を関電が負担

原発をもつ関西電力と、原発地元の実力者だった高浜町元助役との癒着の闇は深い。その一つとして 2021 年 11 月 10 日朝日新聞に報道されたのが、「原発の残土工事で増額分を関電が負担した」という問題。関電の原発関連工事を受注した「吉田開発」（森山栄治・元町助役が経営に関与）がトラブルを起こして工事費が上がったが、その増額分は関電が自ら負担していた。

この工事は関電の高浜原発、大飯原発の特定重大事故等対処施設（いわゆるテロ対策施設）の敷地造成などで出た残土の処分。この施設は東電福島第一原発事故後にできた新規制基準の下で再稼働に必要となったもので、関電によると残土は 2013 ～ 20 年、両原発で計約 220 万m^3 生じた。

関電関係者によると、関電はこの残土処分を準大手ゼネコンに発注し、ゼネコンは高浜町の土木建築会社「吉田開発」に下請けに出した。ゼネコンへの発注額は残土 2500 円/m^3。ところが、吉田開発が 2014 年、残土を町内の山中に投棄していたことが発覚し、近隣住民とトラブルになって搬入をやめた。このトラブルのため、残土は別の場所で処分することになり、処理費が、3400 円/m^3 に上がった。

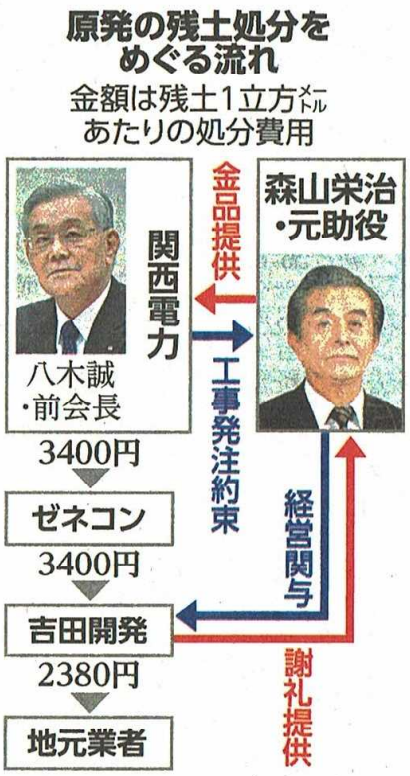
処理費が上がった原因は、受注側が起こしたトラブルであって、こういう場合は新たに生じた費用は受注側が負担するのが一般的という。しかし、関電は自ら増額分を負担することをゼネコン側に申し出たとのこと。このトラブルの後、残土処分は吉田開発を介した形で地元業者が担うことになったが、間にたっただけの「吉田開発」にも取り分が確保され

ていた。

関電→ゼネコン…当初の処理費は 2500 円/m ^{3}。それがトラブル後、3400 円/m^3 にはね上がった。
ゼネコン→吉田開発… 3400 円/m ^{3}。ゼネコンは同額で下請けに出した。
吉田開発→地元業者… 2380 円/m ^{3}。仲介した吉田開発の取り分は 1020 円/m^3。
（残土は 2013 ～ 20 年、高浜、大飯両原発で計約 220 万m^3）

朝日新聞の記事によると、関西電力広報室は残土処分に関して、「個別の契約内容については回答を差し控える」。
そして、関電は 11 日に「重大なコンプライアンス違反ではない」「問題ない」との他人事のような見解を表明している
（→下記参照）。

2021 年 11 月 11 日
関西電力株式会社
残土工事に関する一部報道について
https://www.kepco.co.jp/corporate/notice/notice_pdf/20211111_1.pdf）
一部報道機関が、１１月１０日付の記事で、当社の残土工事について報じていますが、本件に関する当社のスタンスは、以下のとおりです。
＜当社スタンス＞
〇第三者委員会には、金品受取り問題等について客観的かつ徹底的な調査をしていただきました。
〇その後は、業務改善計画に基づき、外部の専門家の審査等を通じて、工事の発注や契約等に関する手続きの適切性、透明性の確保に努めております。
〇重大なコンプライアンス違反事象が判明した場合には、速やかにお知らせしております。
以 上



▲ 2021 年 11 月 10 日朝日新聞

小浜市民は語る！

原発不正マネーの闇は深く、その歴史は長い。福井県内のメディアで扱われたのが 1980 年代。高浜 3 号機建設の際に 9 億円支払われ、町民や漁民に渡った。アンケートをとったら 9 億円というが、実際は 25 億円だという回答があった。
『はとぽっぽ通信』（原発設置反対小浜市民の会）では、原発に反対する市民の闘いを紹介するとともに、「若狭における福井県の“でたらめ行政”を検証する」シリーズとして、現在は「河内川（こうちがわ）ダムの無駄と無謀」と題して、「河内川ダム建設工事に係る関西電力熊川発電所へのダム補償金に疑惑」の記事を連載中。

◆33◆老朽美浜3号機、内部告発やトラブルが続く

運転開始から 40 年を超えて 2021 年 6 月 23 日に再稼働した関電の美浜原発 3 号機で、内部告発やトラブルが続いている。やろうと思えばできたバックフィットも先送りして、再稼働を優先している。安全より経済性優先の関電の経営方針は、何も変わらず一貫している。10 月 25 日が特重施設設置期限で、それが未完成のため 10 月 23 日に「定期点検」入りと称して停止せざるを得なかった。特重施設が間に合わなかったので止まるのではなくて、定期点検のために止まるだけと、空々しい（>_<）

(1) 杜撰な安全工事に対して内部告発

美浜原発 3 号機では、杜撰な安全工事に対する内部告発があるにも関わらず、関電は問題ないとして無視し、規制委もこれに同調している。

以下は、『はとぽっぽ通信』2021 年 8 月第 242 号「老朽原発の再稼働阻止・・その危険性と知事同意後の取り組み（その①）」山本雅彦さん（敦賀市）の記事を掲載。

美浜3号機の、燃料取替用水タンクの竜巻対策の杜撰さを内部告発

3 月 28 日付け（2021 年）滋賀民報に、美浜原発 3 号機の燃料取替用水タンクの竜巻対策のための鉄骨建屋の柱と梁（はり）の溶接工事に携わった吉本選（えらぶ）氏の「あまりにもずさんな工事だった」との告発記事が掲載された。その記事によれば、吉本氏は「鉄骨建屋の設計が悪く、柱と梁の溶接ができません。さらに、母材（部材）は長い間、野ざらしでひどく錆びていた」と。同氏は、工事を請け負った若狭町の建設会社の社長に、「見た目だけ溶接することはできるが強度が出ない。根本的にやり直すべき」と忠告しても「くっついていさえすればいい」と無視されたという。

関電は、関係工事資料を確認した上で、目視点検の結果、問題は無かったと規制委員会に報告。規制委はこれを了承し、使用前検査に合格証を出そうとしている。

しかし、これは安全対策工事に関する重要な告発である。事実とすれば、安全対策工事全体の信頼性が揺らぐ問題である。規制委は、関電の行った内部調査の報告をう呑みにするのではなく、関電に全ての情報を公開させ、第三者に該当箇所の強度確認試験を行わせるなど、規制当局としての責任を果たすべきである。

なお、福井県議会議員・さとう正雄さん（共産党）が、4 月 19 日の議会全員協議会で取り上げて、関電にただしたところ、関電側は、発注した熊谷組を信頼している、などと答えたが、実際の調査は行っていないことが明らかになった。

オール福井反原発連絡会（原子力発電に反対する福井県民会議、福井から原発を止める裁判の会、サヨナラ原発福井ネットワーク、原発住民運動福井・嶺南センター、原発問題住民運動福井連絡会）は、5 月 14 日に、関電の森本孝社長と福井県の杉本達治知事に対して「全ての情報公開」を申し入れている。

(2) タービン動補助給水ポンプ「フィルター目詰まり」の重大な意味

調整運転中の 7 月 2 日、蒸気発生器に給水するためのタービン動補助給水ポンプ周辺のトラブルが起きているが、運転を継続してきた。（**◆25◆**）

(3) 非常用ディーゼル発電機が動作テスト中に自動停止

10 月 6 日には、非常用ディーゼル発電機が動作テスト中に自動停止するトラブルがあったと報道されている。回転数が規定よりも高く示されたために警報が作動して停止したとみられ、関電が原因を調べているが、外部への放射能の影響はないとして、運転を続けている。

非常用発電機が故障すると、全電源喪失につながるのではないか。もう 1 台の同発電機が正常に作動することが確認できたため、運転を続けているというが、2 台の非常用発電機が存在していることに意味があるのではないか。

その後、関電は、停止した非常用ディーゼル発電機は調速装置（ディーゼル機関の回転数を一定に保つ装置）に不具合のある可能性があることがわかったため、予備の調速装置に取り替え、正常に動作することを確認し、10 月 9 日、保安規定を満足する状態に復帰したと発表。

(4) バックフィット無視など相変わらず安全より経済性優先

以下、「老朽原発 40 年廃炉訴訟市民の会」のメンバーからのメールを転載。

関電が 2021/10/23 からの美浜 3 号機の定期検査に

ついて発表しました。
今後の予定として、
原子炉起動、臨界：2022 年 10 月中旬
調整運転開始：2022 年 10 月中旬
本格運転再開：2022 年 11 月中旬
としています。

美浜 3 号機は**火山噴出規模引き上げのバックフィット**が未だなされておらず基準不適合状態ですが、実は同じくバックフィットが求められている**非常用ディーゼル発電機に接続される電気盤の高エネルギーアーク損傷対策**もされないまま稼働しています。今回の定期検査で対策工事をするそうです。

火山と違い、こちらは経過措置の期限が定められているのですが、今年の 8/1 以降の定期検査が終了するまでとなっています（規則改正は 2017 年）。これについては、再稼働前に福井県の原子力安全対策課に確認したところ、「電気系統はいろんなところにつながっていて、１箇所で設定値を変えても、他の箇所の設定が伴わないと問題が起きるので、全体としてやらなくてはいけないので大変さがある。」ということでしたが、すでに「(今年 5 月時点で) 高浜３、４は対策工事が終了し、大飯３号機は対策工事中、大飯４号機は未実施」だそうですから、やろうと思えばできたものを再稼働を優先したのではないかと疑わざるを得ません。

関電の安全より経済性優先の経営方針は何も変わらず一貫していて恐ろしいです。

◆32◆送電線保安業務で架空発注のコンプライアンス違反

関電の 100 %子会社、関西電力送配電（株）でコンプライアンス違反。今度は、「送電線に近接する樹木の保安伐採業務における不適切な処理」。2021 年 9 月 14 日発表。

送電線に近接する樹木の保安伐採業務で、社内基準の補償額では承諾を得られなかった地権者に対し、伐採していない樹木も含めた補償額を払っていた。委託先の関電子会社（株式会社かんでんエンジニアリング）には伐採していない樹木を伐採したとの虚偽報告をするよう指示し過大な委託費を払っていた。架空発注となる不適切処理金額は、補償費が 630 万円、委託費が 371 万円、合計約 1000 万円であった。

過去 10 年分を調査したところ、6 件の同様の不適切な処理があったとのこと。アスベストの不適正処理（**◆23◆**）や不正資格取得（**◆22◆**）は 10 年も遡って調べていないが、なぜか今回は 10 年間を調査。今後、関西電力コンプライアンス委員会による調査が行われる。その委員長は、中村直人弁護士（中村・角田・松本法律事務所）他となっている。

この件に関する関電と関電送配電の報告は
↓
https://www.kepco.co.jp/corporate/pr/2021/pdf/20210914_1j.pdf

◆31◆関電は美浜3号機の使用済み燃料の交換可能年数を2倍に水増し

サヨナラ原発福井ネットワーク、若狭連帯行動ネットワークは、2021 年 7 月 2 日、福井県の杉本達治知事に対して、「－終局迫る原発、原発依存県政からの脱却を急げ!－　関電は、美浜 3 号機の使用済み燃料の交換可能年数を 2 倍に水増ししている!!」との申し入れを行った。

再稼働された老朽原発の美浜 3 号機について、「実際には、3 号プールは 3.6 回、4.8 年で満杯になるところ、廃炉になった 1・2 号機のプールの空きを 3 号機用に使い、緊急時に炉心燃料をプールへ移せない恐ろしい状態にしている。いずれも、禁じ手を使うことを前提にした水増しで、許せない！」
「耐震性のない 1・2 号プールで使用済み燃料の長期保管は危険!!。3 号プールに入れて保管すべき!」

【参　考】

(1) 関電は、美浜 3 号機の使用済み燃料の交換可能年数を 2 倍に水増ししている！（2021.7.2 福井県との交渉、サヨナラ原発福井ネットワーク、若狭連帯行動ネットワーク）
（https://www.youtube.com/watch?v=cytEpRTBtWs）

(2) 再稼働に備えて、美浜 3　号機のプールを空けるため、保管していた 1・2 号機分の使用済み燃

料を急いで 1・2　号のプールに移動(戻)していた!（→ https://bit.ly/3kxvbSO）

◆30◆関電とゾンビ企業・日本原電との腐った関係

【日本原電というゾンビ企業】

日本原子力発電株式会社（日本原電、原電）は、東京電力、関西電力など電力 9 社が中心に出資・設立した企業。原発の運転を行うことによって発電した電力を電力会社に販売する卸電気事業者。敦賀原発 2 号機の再稼働をめざしているが、規制委に提出したデータに改ざんがあり、審査が中断された(2021 年 8 月 18 日)。老朽原発の東海第二原発の方は、規制委の審査は通ったが、避難計画ができていないことから、2021 年 3 月 18 日、水戸地裁が再稼働を認めない判決を出した。保有する原発はともに 2011 年以来止まったままで、再稼働への道筋が見えていない。原発専業で発電ゼロの会社が、ゾンビのごとく徘徊している。

【関電が北陸電力を切る】

関西電力と中部電力は、北陸電力志賀（しか）原発の電力を買い受ける契約（北陸電力志賀原発 2 号機から、関電が電気を受給する契約）を今年 3 月末に打ち切っていた。関電の株主総会で稲田浩二副社長が「2021 年 3 月をもって終了しております」と話した。理由は説明されなかったとのこと。

これまで規模の大きい関電、中部電が北陸電の原発を支えてきたが、今回の打ち切りはこうした「原発互助会」体制に大きな亀裂が入ったといわれる。その影響は北陸電のみならず、電力各社からの不明朗な収入に頼る日本原電にも大きく及びかねない。互助会システムは崩壊するのか、注目されている。

◆【参　考】志賀原発2号機の受電契約期間の15年が2021年の3月で終了…… 1996 年 3 月 15 日付にて、北陸電力、関西電力および中部電力の間で、以下の内容を締結した。

・北陸電力が広域運営の本旨に則り、志賀 2 号機の建設およびこれに関連する系統の整備を行いその供給余力を中部電力および関西電力に融通送電することにより、北陸電力の設備の有効活用を図るとともに、中部電力および関西電力の需給安定に資することを目的とする。
・中部電力および関西電力は、志賀 2 号機より発生する電力のうち、運転開始以降 10 年間、さらに運転開始後 11 年目以降の 5 年間についても、中部電力、関西電力合わせて最大 60 万 kW を受給し、中部電力 4、関西電力 5 の比率により配分する。
・定めのない事項もしくはより難い事項が生じたときは、誠意をもって 3 社協議する。
・予期せぬ事由により、電力の受給が相当期間中断された場合や受給開始後に原価の大幅な変動が生じた場合の融通料金の取扱いについては、相応の負担を原則としてその都度 3 社協議のうえ決定する。

【関電が切れない日本原電との関係】

電力自由化のもとで経営の余裕がなくなり北陸電力との関係を切った関電も、日本原電との関係は切れないと見られる。元経産省官僚の古賀茂明氏は、「関電は今や東電に代わり原発政策を推進する盟主。原子力ムラ内の主要プレイヤーとは言えない北陸電は切れても、原発専業の日本原子力発電（原電）は切れない。関電の使用済み核燃料の搬出先の候補地に、東電と原電が出資して青森県むつ市に建設している中間貯蔵施設が挙がったことも絡み、関電が契約を切って原電の息が絶えれば、その道も閉ざされることになる」とみる。（東京新聞 2021 年 7 月 15 日）

【日本原電と関電が敦賀市に市道整備を寄付】

日本原電と関西電力は、2018 ～ 21 年度、原電敦賀原発がある福井県敦賀市に市道整備費として 15 億円を提供する（2021 年 3 月報道）。原電の全原発は稼働しておらず、自身の売電収入がゼロの中での資金提供となる。原電に「購入費」を払う東電、関電など大手電力の料金に影響する可能性が大きい。

【関電などが日本原電を不明朗支援】

日本原電は、東海第二原発と敦賀原発を保有するが、2011 年以来ともに稼働していない。発電量がゼロなのに、電力各社が「電力購入費」として年間 1400 億円も払っている。電力会社は電気料金の原価にこの「購入費」を算入しており、結局、国民の負担増となっている。「使い捨て時代を考える会」が、関電京都支社にて 2021 年 7 月 28 日に行った話し合いでは、基本料金として払っていると回答して

いる。

Q　日本原電に電気料金として、最近も毎年ほぼ190 億円を支払っておられますが、購入電力はゼロです。購買電気がゼロなのに毎年 190 億円もなぜ払っているのか。
A　基本料金と使用料金のようなもので、基本料金だ。
Q　190 億円が基本料金か。
A　そうだ。
（この面談記録は→ https://bit.ly/3jhEkzd ）

◆【参　考】日本原電が経営情報を隠ぺい……日本原電は、1957 年の設立以来初めて有価証券報告書の開示をやめ、会社概況書にかえた。その結果、経営の根幹にかかわる情報が隠されるようになった（2021 年 9 月 8 日報道）。
・会社概況書では、電力各社に電気をどれだけ販売したかをまとめた一覧表や、各社との関係を示す図がなくなった。有価証券報告書の一覧表を見れば、東電の子会社から 369 億 3000 円、関電から 188 億 8500 万円などの数字や、原電が発電するすべての電力を大手電力計 6 社で受電する契約内容が分かったが、それらがごっそり消えている（原電の収入の柱は電力各社が払う金で、電気を供給していなくても支払われる基本料金があると記されていた）。電気を売らなくても、各社から基本料金の名目で入る金の総額は、年計 1000 億円程度、2011 ～ 2020 年の 10 年間の累計で 1 兆 1777 億円に上るが、その数字が確認できなくなった。
・都合の悪い情報を伏せるという、日本原電の歴史は古い。1981 年、敦賀 1 号機の冷却水漏れを隠していたことが発覚。1998 年には、子会社が使用済み核燃料の運搬容器関連の試験データを改ざんしていたことが明るみに出た。2007 年には、原子炉格納容器の気密性を確認する試験で空気漏れを不正にふさいで合格させたことが判明。

◆29◆関西電力労働組合はどうか、労組の役割はどこに？

（1）役員による原発マネー不正還流について

関西電力労働組合は「役員等による金品受取問題（業務改善計画）の受け止めと対応について」という内容を、労組の Web サイトで公表している。
↓　↓
会社は、原子力事業に関して、
(2) 原子力事業本部に対する実効的なガバナンス体制の構築
① 原子力事業本部に対する牽制と支援の強化
② 風通しの良い組織の創生に向けた取り組み
と方針をあげているが、
労働組合は、それに対する「受け止めと対応」として原子力事業運営について、より透明性があるものとなるよう実効性ある対策でなければならない。」としている（2020 年 3 月 30 日）。
↓
http://www.kandenrouso.or.jp/action/policy/__icsFiles/afieldfile/2020/03/30/tenpu.pdf
そして、その後、音沙汰ナシ（2021 年 8 月 19 日現在）。あれっ、これだけ？？
本部定期大会も開かれているだろうに、
さつまいも収穫と森林保全活動の報告だけで良いのか。

関西電力労働組合の Web サイト
↓
http://www.kandenrouso.or.jp/

（2）衆院選で必死の関電労組

2021 年 10 月 13 日朝日新聞デジタルより
↓
https://www.asahi.com/articles/ASPBD5Q0CPB8PTIL03J.html?iref=pc_rellink_05
原発への姿勢で「A～D」のランク付け　必死の関電労組、衆院選で

原発に逆風が吹く中、電力業界が衆院選を前に活発に動いている。原発が集中する福井 2 区では、電力労組の関係者が自民候補に接近。関西電力労組は他の選挙区の自民候補も陰で支える一方、野党系候補を原発への姿勢でランク付けし、支援に差を付けている。
「原子力のことをどう考えるのか」。電力会社の労組関係者は衆院選候補者に迫ります。自民候補に「裏推薦」を出したり、野党候補を原発への姿勢ごとにランク付けしたり。衆院選を前に必死な電力労

組の動きを明かします。
└────────────────────────

（3）組織内国会議員

┌────────────────────────
　関西電力労働組合の Web サイトには、組織内議員紹介のページがあり、
組織内国会議員として、二人があげられている。
所属政党名は書いてないが、ともに国民民主党。野党側から原発を推進。
小林　正夫　参議院議員
浜野　喜史　参議院議員
└────────────────────────

（4）関西電力労働組合政治活動委員会

┌────────────────────────
　政治活動のために関西電力労働組合政治活動員会があって、2 万人の会員がいる。
大阪府選挙管理委員会に提出した関西電力労働組合政治活動委員会
（大阪市北区南扇町 1 番 14 号関労会館内）の収支状況
（平成 23 年 3 月 10 日受付）を見ると、
収入総額：180,344,672 円
支出総額：121,680,357 円

収入項目では、個人の負担する党費または会費が大きい。
員数 20,224、金額 56,956,800 円

支出項目には、寄付があって、電力総連政治活動委員会のほか、
「岩崎たつお後援会」（西宮市）に 1000 万円、
「小幡のりひと後援会」（高浜町）に 100 万円、などなど。
大阪府、京都府、兵庫県、和歌山県、滋賀県などの政治家の後援会が並んでいる。
└────────────────────────

▼関西電力労働組合「私たちの考え」はこの三本のみ（2021年8月19日現在）
　→関西電力労働組合の Web サイトは、http://www.kandenrouso.or.jp/

私たちの考え

2020年

2020/03/30　役員等による金品受取問題（業務改善計画）の受け止めと対応について

2020/03/16　【スタンス】関西電力株式会社の役員等による金品受取問題に関わる第三者委員会報告を踏まえた労働組合の受け止めと対応について

2019年

2019/10/16　【スタンス】関西電力株式会社の一部経営幹部による金品受領問題について

┌──
◆28◆コロナクラスター発生でも原発は運転
└──

　各地の原発で、作業員のコロナ感染が増加しているにも拘らず、電力会社は原発運転を続け、政府や原子力規制委員会は、それを制止しようともしません。

　関電の美浜、高浜、大飯の 3 原発では、これまでに、70 人の感染者が確認されています。そのうち 38 人は 8 月（2021 年 8 月 22 日現在）の感染者です。福井県は、美浜原発で 4 日、高浜原発で 7 日にそれぞれクラスターが発生したと発表しています。10 人のクラスターが発生した高浜原発について、福井県は、関連作業員ら 674 人を自宅待機としています。高浜 3 号機で進めていた追加の安全対策工事は一時中断し、再開時期は未定としていますが、稼働中の

高浜 3、4 号機と美浜 3 号機の営業運転に影響はないと強弁しています。

美浜原発では 3000 人、高浜原発では 3500 人、大飯原発では 2500 人の作業員が働いていますが、作業の場所や内容によっては、「3 蜜」職場になりかねません。また、複数の作業員が狭い空間で、配管の溶接にあたることもあり、暑さと息苦しさのためにマスクを外したくなる場合もあると言われています。原発作業員の多くは、全国各地の原発に赴いて働き、原発近くの民宿やホテル等に長期宿泊し、バスで通勤する等、団体行動もともないます。コロナ感染の確率は高いと思われます。

原発は万が一にも重大事故を起こしてはならない装置です。その装置の安全維持を担い、専門技術を持つ作業員の間にコロナクラスターが拡大して、安全維持に手抜きや遺漏が生じてはならないことは自明です。コロナのクラスターが発生した場合、関髪を容れず原発の稼働を停止するのは、最低限の企業倫理です。それでも、関電は、原発運転を継続し、老朽原発の稼動まで行っています。危険きわまりない事態です。

◆27◆配管に4cmの穴でも運転継続

2021 年 8 月 4 日、大飯原発 3 号機で、タービンを回した蒸気を冷やすために海水を復水器に送る配管からの水漏れが見つかった。2 系統ある配管の 1 系統の空気抜き弁枝管の付け根付近に直径 4 cm 程度の穴が開いていた。漏れた海水は約 20 トンとされる。この配管が大きく破損すれば、十分に原子炉を冷やせなくなる恐れがある。

（位置の図解は→表紙を参照のこと）

それでも関電は、原子炉を停止せず、この系統のポンプを止め、出力を 65 %に下げて運転を続けた。その後、雨水による腐食が原因とみられると発表して、8 月 11 日に 100 %に戻した。しかし、その後で、雨水原因説を撤回した。

原因は何か、安全軽視としか言いようがない。8 月 9 日には、社長が美浜町で「安全の誓い」を読み上げた（**◆04◆**）ばかりなのに。

「美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会（美浜の会）」の Web サイトでは、次のように追求している。

http://www.jca.apc.org/mihama/saikado/ooi3jiko20210816.pdf

↓

関電は 8 月 13 日付補正報告書で、10 日付報告書に書いていた、雨水が該当箇所に達していたという雨水原因説の具体的根拠となる唯一の記述を削除している。10 日付報告書で嘘をついて、原因調査できたとして 100 %出力運転に戻し、その後でその具体的根拠の記述を削除したのだ。このようなやり方は許しがたい。報告書は撤回し、大飯 3 号の運転を直ちに停止し、原因調査をやり直すべきだ。

▼右下が4cmの穴。錆止め塗装はしないのか。（写真は関電による）

なお、関電は、9 月 3 日付の広報「原子力発電所の運営状況について」において、原因は「降雨時に雨水がダクトの外側をつたい、垂れ落ちる状況が長年続いていたこと」などとして、図解を掲示している。ただし、その後、雨水説は撤回。

↓

https://www.kepco.co.jp/corporate/pr/2021/pdf/20210903_3j.pdf

◆26◆裁判では老朽化の原データ提出を拒否　【付 中性子照射脆化（ぜいか）】

▲関電の原子力事業本部（美浜町、賄賂の舞台）、「安全を守る。それは私の使命、我が社の使命」

【老朽原発40年廃炉名古屋訴訟（高浜1、2号機、美浜3号機が対象）にて】

重要な争点の一つが、取り替え困難な原子炉容器の**中性子照射脆化**（ぜいか。金属が中性子を浴び続けるとねばり強さを失いもろくなること）の問題。関電の評価結果では、脆性遷移温度（ぜいせいせんいおんど。金属は一定の温度以下になるとねばり強さを失いもろくなる、その境界となる温度のこと。中性子を浴び続けると脆性遷移温度は上昇 ）が、**全国の原発の中でももっとも高い温度99℃（60年予測時点）と評価されている高浜1号機のデータ数が異様に少ない**。

そこで、これまで原告は、参加人・関電に対して監視試験片（原子炉容器に同じ鋼材の試験片を入れておいて、中性子を浴びてどのくらいもろくなったかを定期的に取り出して試験をする）の原データを提出するよう求めてきたが、一向に提出されない 。被告・国の方はといえば、関電から受け取っていない、認可に当たって原データを確認しなくても問題ないと開き直っている。 仕方がないので、原告側は､裁判所が提出を命令する手続きを使うこととし、高浜事件の方で手続き（2020 年 7 月 13 日付）をしている。

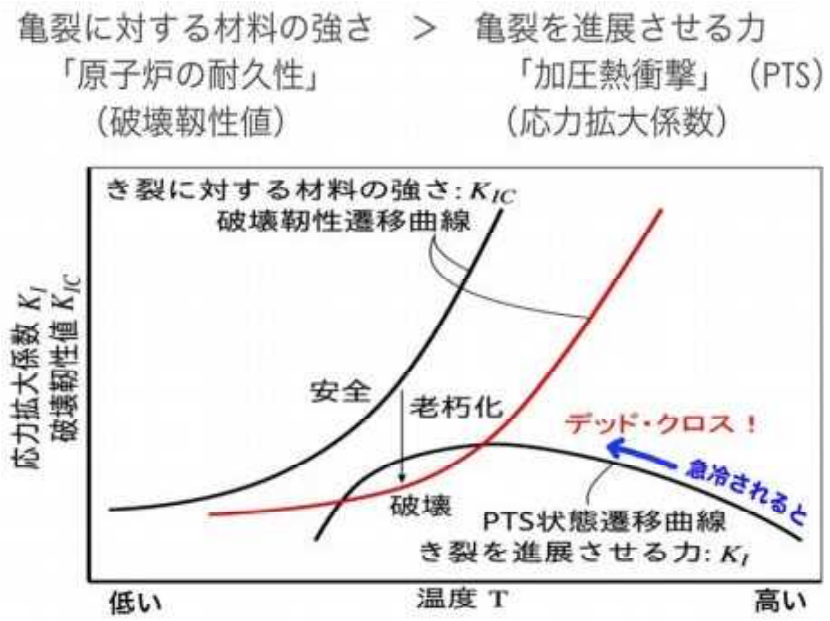
【老朽原発40年廃炉訴訟市民の会 2021年8月4日 美浜3号機の口頭弁論より】

露木洋司弁護士が、当訴訟で最も重要な問題の一つとして主張している中性子照射脆化問題のうち、破壊靭性（じんせい）遷移曲線（グラフの左から右に上昇する曲線。緊急時に原子炉容器が冷却水で一気に冷やされ収縮した時に、外面との温度差で強い引っ張り応力がかかる＜加圧熱衝撃（PTS）＞。この時に内面にひび割れがあると、ひびを広げようとする力を受けるが、原子炉容器の鋼材がこの力に耐えられる靭性＝粘り強さを評価した曲線。長年、中性子を浴び続けると粘り強さは低下します）の評価式自体の不合理性などについて、被告・国の反論への反論を行いました。

【上の解説、次ページのデッドクロスの図解は **老朽原発40年廃炉訴訟市民の会** Facebook、またはその「デンジャラス君通信 No.17」による】

・https://www.facebook.com/toold40nagoya/photos/a.2771346259810486/3035120426766400/

・http://toold-40-takahama.com/wp-content/themes/toold40takahama/assets/dangerous/dangerous17.pdf



【中性子照射脆化の著しい（＝とくに危険な）原発】

廃炉原発 6 基を除けば、関電の原発ばかり 4 基！その 4 基のうち 3 基が 40 年超えの老朽原発！

【ワーストテンの原発】

(1) 高浜1…脆性遷移温度 99 ℃（試験時期：2009）。
緊急炉心冷却装置の作動などで、99 ℃より低温になると、割れる可能性。

(2)～(5) 廃炉（玄海 1、美浜 2、美浜 1、大飯 2）

(6) 高浜4…脆性遷移温度 59 ℃（試験時期：2010）。現在、稼働中 !!!（>_<）!!!

(7) 美浜3…脆性遷移温度 57 ℃（試験時期：2011）。現在、稼働中 !!!（>_<）!!!

(8)～(9) 廃炉（敦賀 1、福島 1）

(10) 高浜2…脆性遷移温度 40 ℃（試験時期：2010）

（『原発はどのように壊れるか　金属の基本から考える』 小岩昌宏・井野博満 著）

◆25◆美浜3号機の「フィルター目詰まり」の重大な意味

2021 年 6 月 23 日に関電が再稼働を強行した美浜原発 3 号機は、6 月 29 日に送電を開始し、7 月 3 日にフル稼働の試験を行う予定だったが、2 日に不具合が発生、フル稼働が 1 日延期された。問題が起こったのは、非常時に蒸気発生器に注水するための「タービン動補助給水ポンプ」の配管の圧力が低下したとここと。ポンプのフィルター（ストレーナー）に鉄くずが詰まっていた「フィルター目詰まり」という。掃除だけして、7 月 27 日から営業運転に入っている。

しかし、今回の事態は、美浜 3 号機配管破断事故（2004 年）の悲惨な経験（5 名が死亡、6 名が重傷）（**◆04◆**）や、その際のタービン動補助給水ポンプの重大な不具合を踏まえ、いざとなった時に、それがきちんと動くのかどうかを確認するための試験で、不具合を起こしたもの。このポンプの作動に不具合があるということは、非常事態を想定しての試験に合格できていないことを示している。 電源の喪失という非常時を想定した試験に不合格のままで、この原発を動かし続けて良いのか。いざとなった時にきちんと動かなければ、炉心冷却ができないままメルトダウンに至る危険が現実となる。タービン動の補助給水ポンプは電源喪失の場合に蒸気発生器に給水する手段として、たいへん重要な機器である。

（位置の図解は→表紙を参照のこと）

【参　考】蒸気発生器に水（二次系）を補給する給水ポンプには、主給水ポンプと補助給水ポンプとがあり、「電動」と「タービン動」との両方がある。「タービン動」の補助給水ポンプは、電源が喪失してもタービンの動きで稼働するようになっている。

（この項は、おもに守田敏也さん「明日に向けて2058」↓ https://blog.goo.ne.jp/tomorrow_2011/e/51f0bb28dd315f2cc0b1d003c092fbf5 ）

◆24◆カルテルの疑いで二度の立ち入り検査

【最初の立ち入り検査】

事業者向けの電力供給をめぐり、互いの営業活動を制限するカルテルを結んでいる疑いがあるとして、公正取引委員会は 2021 年 4 月 13 日、**中部電力**と販売子会社の中部電力ミライズ（いずれも名古屋市）、**関西電力**（大阪市）、**中国電力**（広島市）の 4 社に対し、独占禁止法違反（不当な取引制限）の疑いで立ち入り検査をした。公取委がカルテル容疑で電力会社に立ち入り検査に入るのは初めて。「特別高圧」の電力供給をめぐるもの。各社が従来、電力を供給してきた区域外では積極的な営業活動をせず､顧客を奪い合わないようにしていた疑いがある。合意は関電と中部電、関電と中国電それぞれの間で交わされていたとみられる

【二度目の立ち入り検査】

公正取引委員会は 2021 年 7 月 13 日、電力販売で互いに顧客の獲得を控えるカルテルを結んでいた疑いが強まったとして､**九州電力**とそのグループ会社、**関西電力**、**中国電力**の 4 社を立ち入り検査した。公取委は 4 月にも、電力や都市ガス販売でカルテルを結んだ疑いで、関電や中部電力、東邦ガスなどに立ち入り検査を実施した。容疑が事実なら、電力やガス市場の競争を不当に損ない、消費者を裏切る許されない行為である。

◆23◆杜撰なアスベストの処理

関電は 2021 年 8 月 2 日、長野県や岐阜県の水力発電所更新工事で、労働安全衛生法（安衛法）により譲渡が禁止されているアスベスト（石綿）を含む設備を調査せずに鉄くずとして売却していたと発表。水力発電所で使用している設備に高濃度のアスベストが含有しているにもかかわらず、把握せずに産廃業者に譲渡していた。「譲渡先は複数ある」ことを認めたが、それ以上の詳細は「差し控え」と答えない。

岐阜県によれば、同県内の発電所から撤去されたものは愛知県内の産廃業者に譲渡されたとのこと。また、関電は「原子力や火力部門では把握する仕組みがあった」と説明する。だが、2020 年 1 月にも奈良市の登美ヶ丘変電所でアスベストが吹き付けられた防音壁を届け出や対策なしに撤去している。

【続　報】

関西電力のアスベスト不正譲渡、実際は多数か。追加調査「検討中」から進まず（2021 年 8 月 19 日）。不適正事案で同社の報告を受けた松本労働基準監督署は、一般論として「関電くらいの企業であれば調査するのが普通ではないか」と述べた。

◆22◆違法な資格取得

関電は 2021 年 7 月 30 日、子会社 KANSO テクノス（大阪市）の社員 6 人が、必要な実務経験を積んでいないのに施工管理技士の国家資格を不正に取得と発表。内部通報により発覚。調査対象期間が 2018 年 4 月から 2021 年 6 月末までと限定された発表で、長年、このようなことをしてきたのではないかとの疑いも指摘される。

◆21◆蒸気発生器で伝熱細管の損傷が多発

蒸気発生器とは、一次時冷却水の熱を二次冷却水に伝える細い伝熱管を束ねた装置。熱交換率を上げ、効率よく熱交換するためには、この伝熱管はできるだけ薄い方が望ましい。薄ければ薄いほど熱が伝わりやすい。一方で安全を考えれば、管は厚い方が望ましい。厚くて頑丈であればあるほど、減肉しても丈夫に放射能そのものの一次冷却水を密封できる。

（位置の図解は→表紙を参照のこと）

高圧（157 気圧）、高温（320 ℃）の一次冷却水が流れる蒸気発生器配管が完全に破断すれば、原子炉水が噴出し、原子炉が空焚きになる可能性がある。実際、1991 年に美浜原発 2 号機で伝熱管破断して大事故になった（**◆02◆**）。このため、蒸気発生器は「**加圧水型原発のアキレス腱**」とよばれる。
（関電の原発はすべて加圧水型＝ PWR）

(1) 高浜原発 3 号機の蒸気発生器（SG）伝熱管の施栓履歴（2018 年、関電発表）
↓
https://www.kepco.co.jp/corporate/pr/2018/pdf/0912_1j_02.pdf

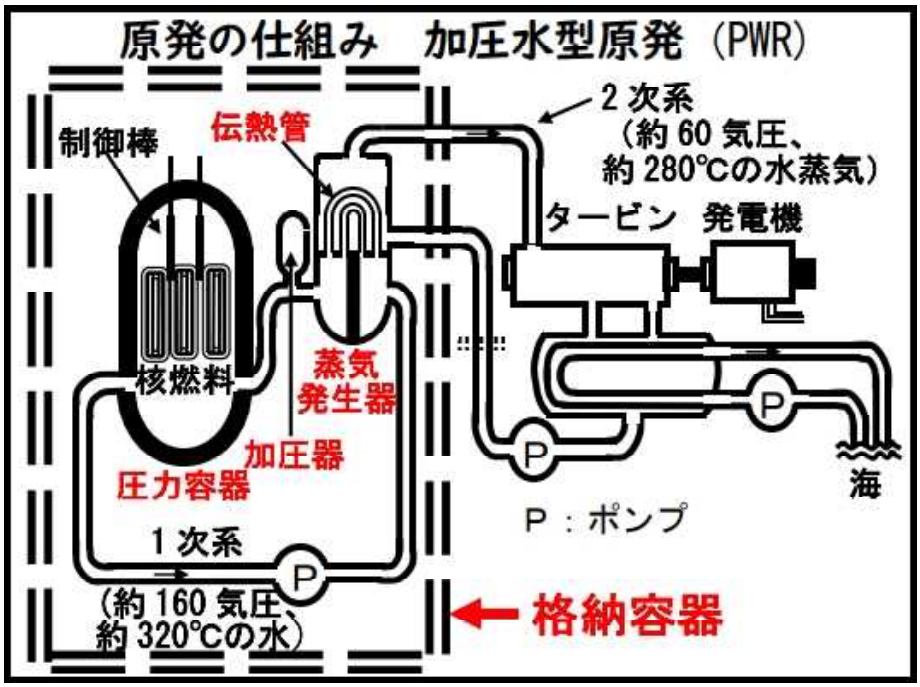
(2) 高浜原発 4 号機の蒸気発生器（SG）伝熱管の施栓履歴（2019 年、関電発表）
↓
https://www.kepco.co.jp/corporate/pr/2019/pdf/1128_2j_02.pdf

(3) 2020 年 10 月から、高浜発電所 4 号機の蒸気発生器伝熱管損傷で点検。

伝熱管に幅約 1mm もしくは 1mm 以下、周方向に約 2 ～ 7mm のきずを確認。このうち、1 本の伝熱管において、伝熱管と管支持板の間に異物が挟まっていることが判明。関電によれば、回収した異物はプラント運転に伴い、SG 伝熱管外表面に生成された鉄酸化物（スケール）と推定。また、3 台ある蒸気発生器の計 9747 本中、2 台の計 4 本が外面から 25 ～ 36 %削れている可能性があるという。なお、高浜原発では、2019 年 10 月に 4 号機、2020 年 2 月に 3 号機の伝熱管で同様の損傷が確認されている。

高浜発電所 4 号機の蒸気発生器伝熱管の損傷（調査結果）
↓
https://www.kepco.co.jp/corporate/pr/2021/pdf/0125_1j_01.pdf

▼加圧水型原発のしくみ（老朽原発うごかすな！実行委員会）



◆20◆クチコミサイトにみる関西電力社員の声

ネットのクチコミサイトでは、関電社員の声が聞こえる。

(1)キャリコネ（https://careerconnection.jp/）

年間 2000 万人が訪れる企業の口コミ・給与明細サイトに寄せらせた口コミ。

◆「労働環境に問題を感じる。組織がとにかく大きいため，強烈なトップダウンで仕事が進行する。基本的には割り当てられた仕事をそつなくこなすことが求められ，枠からはみ出すような考えや意見を述べるものはあまりいい顔をされない。社内政治力を持つ人間のイエスマンが昇進する」（土木設計／ 20 代後半男性／正社員／年収 450 万円／新卒入社／ 3 年～ 10 年未満／投稿時に在職／ 2019 年度に関する口コミ）

◆「本店は自部門の事しか考えていない。現場は既得権を振り回して変化を嫌がる。先行きが見通せないのに，まだまだ『アグラをかいてる』人が多い。無駄な出張，会議，打ち合わせのオンパレード。総務，経理，購買は自分たちの雑多な仕事を現場に押し付けてる。そのくせ，セルフチェックという名目で，指導という名目の文句を言ってくる。総体的に変化を嫌がる会社なので，やりがいはない」（総務/40 代前半男性／正社員／年収 600 万円／ 2016 年度）

◆「（退職理由について）原子力発電所の再稼動以外のアイデアが枯渇していること，ドラスティックな変化が求められている状況でありながら会社全体として現状に背を向けていること，以上２点が改善されない限り会社の将来は……。」（20 代後半，男性，正社員，年収 500 万）

(2)Resaco 企業口コミ比較

東京電力 vs 関西電力，口コミ分析でわかる働きがい・働きやすさ対決
（Resako → https://corp-research.jp/articles/5072）
（2019 年 12 月 12 日公開|Resaco 編集部）

◆関西電力では「東日本大震災以前から原子力に過度に依存しており，司法リスク等が高まる中，今後も原子力ありきの経営方針としている。」「原子力発電所の再稼動以外のアイデアが枯渇している。」と原子力関連の方針へのネガティブな口コミが多く見られました。

(3)YAHOO！しごとカタログ（https://jobcatalog.yahoo.co.jp/company/1000003572/review/）、ほか

◆将来性には悲観的

不満な点：給与・待遇。営業正社員、50 代男性、リーダー、現職、新卒入社、既婚。2021 年。

総括原価で支えられた独占企業時代は、高い給料、行き届いた福利厚生施策を満喫できたが、電力自由化の進展に伴う収益の悪化で給与水準は徐々に引き下げられ、福利厚生施策は少しづつ廃止され、今では待遇面で他社に自慢できる点はほとんどなくなったと言える。また昇進の機会も、かつてに比べてポストが減少しており、定年まで役職者になれず、平社員のままで終わる者が増えてきて居る（50 歳になって役職者になれない者は、ほぼ昇進は望み薄である）。株価についても 30 年前の水準に逆戻りしてしまい。会社の将来性については悲観的にならざるを得ない。

◆年収は相当なレベル

しかし、関西電力の平均年収は 2019 年 3 月期の有価証券報告書によると、791.6 万円。 キャリコネ（クチコミ情報を提供するウェブサイト）に寄せられた給与明細から算出した関西電力の年代別年収レンジは、20 歳代で 520 ～ 620 万円、30 歳代で 650 ～ 750 万円、40 歳代で 760 ～ 860 万円。タイミングが遅れても誰でも 1000 万円には手が届くといわれるが、定年まで 1000 万円で横ばいという人も多いとのこと。

◆最近は大幅に復活

関西電力の平均年収は、過去 5 年間で約 200 万円のアップ（2015 年 588.2 万円→ 2019 年 791.6 万円）という、大きな変化が見られる。これには、2011 年から 2014 年まで 4 年連続の赤字決算（原発の稼働停止によるもの）の後、2015 年以降業績が改善されてきた、という背景がある。こうした状況の従業員への影響は大きく、2018 年まで月例賃金が減額され、さらに 2016 年まで夏賞与の停止という対応が取られていたが、月例賃金の減額が段階的に改

善され、2017 年以降夏賞与も再開したことで、平均年収の大幅な増加＝復活につながっているという。

◆19◆配管溶接部に深い傷があっても運転継続を主張

2020 年 8 月 31 日、大飯原発 3 号機の定期検査で一次冷却材管と加圧器スプレイ配管の溶接部付近に深さ 4.6mm、長さ 67mm の傷があることが判明。関電は、「当該部の配管厚さは、14.0mm であり、原子炉等規制法の規定に基づく技術基準で求められる設計上の必要最小厚さ 8.2mm を満足している」として、配管取り替えはしないと主張。一次系配管溶接部に深い傷があっても運転継続を主張したわけだ。

（位置の図解は→◆21◆、または表紙を参照のこと）

しかし、規制委との何回かの会合でとがめられ、最終的に配管の取り替え工事を行うことになった。当初 9 月 26 日までであった定期検査は長引いて、再稼働できたのは 2021 年 7 月 3 日だった。関電の原発は、当時、高浜 3 号機が特重施設（特定重大事故等対処施設いわゆるテロ対策施設）未完成で停止中、同 4 号機は熱交換器伝熱細管損傷で調査中、大飯 4 号機は 11 月 3 日から定検入り予定だったので、どうしても、大飯 3 号を動かしたかったわけだ。

一次系配管が万一破断したら、大事故になる。安全第一は、どこにいったのか。

【参　考】

加圧器とは…原子炉運転時に一次冷却材を未飽和状態に加圧維持する設備。加圧器本体、電熱ヒーター、水スプレイ、安全弁などから構成。加圧器容器内の約２分の１が液相で他は気相となっている。一次冷却材の加圧は電熱ヒータの加熱によって行われ、減圧は水スプレイによって蒸気を凝縮させて行う。減圧のための水スプレイは一次冷却水から導かれる（これがスプレイ配管）ので、この配管が破断したら、一次系冷却水の喪失につながる。

◆18◆原発マネー不正還流、最悪の幹部腐敗 【付 幹部20人の不正受領金額、責任追及裁判】

2019 年 9 月に新聞報道で発覚。関電の役員等 20 名余が、福井県高浜町の**森山栄治**元助役やその関連会社から計約 3 億 6 千万円の金品を受領していた。関電の発注した主として原発関係の工事費からの還流であることに疑いの余地はなく、それを受け取るのは犯罪。1 億円を超える金品をもらっていた原発事業の幹部（**豊松秀己**元副社長ら）もいる。平然と受け取り隠そうとしてきた。会社幹部としてすべきことではない。関電の発注した主として原発関係の工事費からの還流であることに疑いの余地はなく、それは、特別背任罪（会社法 960 条 1 項）、背任罪（刑法 247 条）、贈収賄罪（会社法 967 条 1 項）、所得税法違反（238 条 1 項、120 条 1 項）の疑い。

2019 年 12 月 13 日「関電の原発マネー不正還流を告発する会」は、3272 人で刑事告発（2020 年 1 月末の追加をあわせると告発人は 3371 人）。さらに、第三者委員会報告書で明らかになった退任役員への闇補填行為が業務上横領や特別背任にあたるとする新たな告発を行うことにし、2020 年 6 月 9 日に 2172 人で大阪地検に提出した（後の追加をあわせると 2193 人）。その後、上記 2 つの告発状を一本化し、関電の第三者委員会、取締役責任調査委員会、コンプライアンス委員会の報告書で明らかになった事実等でブラッシュアップして、被告発人を森元会長ら 9 名に絞った告発状を提出した。その結果、2020 年 10 月 5 日、大阪地検に正式に受理された。

しかし、まる 1 年経っても起訴には至っていない（2021 年 10 月 5 日現在）。そのくせ、不起訴になりそうという「関係者」による “情報“ （意図的なリーク）がマスコミに流されている。2021 年 10 月 6 日の関電会社訴訟（株主提訴併合）第 1 回口頭弁論に先立って、刑事告発代理人弁護士らは、大阪地検に対し「告発状にしたがって起訴するように」申し入れを行っている。

関西検察のドンと呼ばれた**土肥孝治**元検事総長が

元監査役、**佐々木茂夫**元大阪高検検事長が現取締役、**小林敬**元大阪地検検事正が今回の事件の社内調査委員会委員長を務めるなど大阪地検と関電の深いつながりが、起訴の決定を阻んでいるのではないかと疑われている。

【参　考】

・**関電の原発マネー不正還流を告発する会**
→ http://kandenakan.html.xdomain.jp/

・**関電経営トップ「居座り」と「関西検察OB」との深い関係**
↓
https://news.yahoo.co.jp/byline/goharanobuo/20191007-00145654

【関西電力が公表した役員、幹部20人の受領額（商品は金額換算）】

（[　] は受け渡し当時の職位）

(1) **八木誠**・会長［原子力事業本部長］
＝ 859 万円（商品券 30 万円▽金貨 63 枚▽金杯 7 セット▽スーツ 2 着）

(2) **岩根茂樹**・社長［社長］
＝ 150 万円（金貨 10 枚）

(3) **豊松秀己**・元副社長［原子力事業本部長］
＝ 1 億 1057 万円（現金 4100 万円▽商品券 2300 万円▽米ドル 7 万ドル▽金貨 189 枚▽小判型金貨 1 枚▽金杯 1 セット▽スーツ 20 着）

(4) **森中郁雄**・副社長［原子力事業本部長代理］
＝ 4060 万円（現金 2060 万円▽商品券 700 万円▽米ドル 4 万ドル▽金貨 4 枚▽スーツ 16 着）

(5) **鈴木聡**・常務執行役員［原子力事業副本部長（技術）］
＝ 1 億 2367 万円（現金 7831 万円▽商品券 1950 万円▽米ドル 3 万 5000 ドル▽金貨 83 枚▽小判型金貨 2 枚▽金延べ棒 500 グラム▽スーツ 14 着）

(6) **大塚茂樹**・常務執行役員［原子力事業副本部長（発電）］
＝ 720 万円（現金 200 万円▽商品券 210 万円▽米ドル 1 万ドル▽スーツ 4 着）

(7) **白井良平**・関電エネルギーソリューション社長［原子力事業本部長代理］
＝ 790 万円（現金 200 万円▽商品券 150 万円▽金貨 16 枚▽スーツ 4 着）

(8) 勝山佳明・関電プラント常務取締役［原子力事業副本部長（発電）］
＝ 2 万円（商品券のみ）

(9) **右城望**・常務執行役員地域共生本部長［原子力事業副本部長（企画）］
＝ 690 万円（現金 100 万円▽商品券 340 万円▽スーツ 5 着）

(10) **善家保雄**・原子力事業本部副本部長［原子力事業副本部長（企画）］
＝ 30 万円（商品券のみ）

(11) **長谷泰行**・元日本原燃常務執行役員［高浜原発所長］
＝ 230 万円（商品券 80 万円▽スーツ 3 着）

(12) **宮田賢司**・原子力事業副本部長［高浜原発所長］
＝ 40 万円（商品券 40 万円）

【以下は氏名非公表】

(13) 元原子力事業本部総務担当部長 A
＝ 400 万円（商品券 150 万円▽スーツ 5 着）

(14) 元原子力事業本部総務担当部長 B
＝ 85 万円（商品券のみ）

(15) 元原子力事業本部総務担当部長 C
＝ 30 万円（商品券のみ）

(16) 元高浜原発副所長 D
＝ 50 万円（スーツ 1 着）

(17) 元高浜原発副所長 E
＝ 20 万円（商品券のみ）

(18) 元京都支社副支社長 F
＝ 125 万円（現金 10 万円▽商品券 115 万円）

(19) 元京都支社副支社長 G
＝ 115 万円（現金・商品券 65 万円▽スーツ 1 着）

(20) 元京都支社副支社長 H
＝ 25 万円（商品券のみ）

【原発マネー不正還流で関西電力の経営陣を追及する裁判】

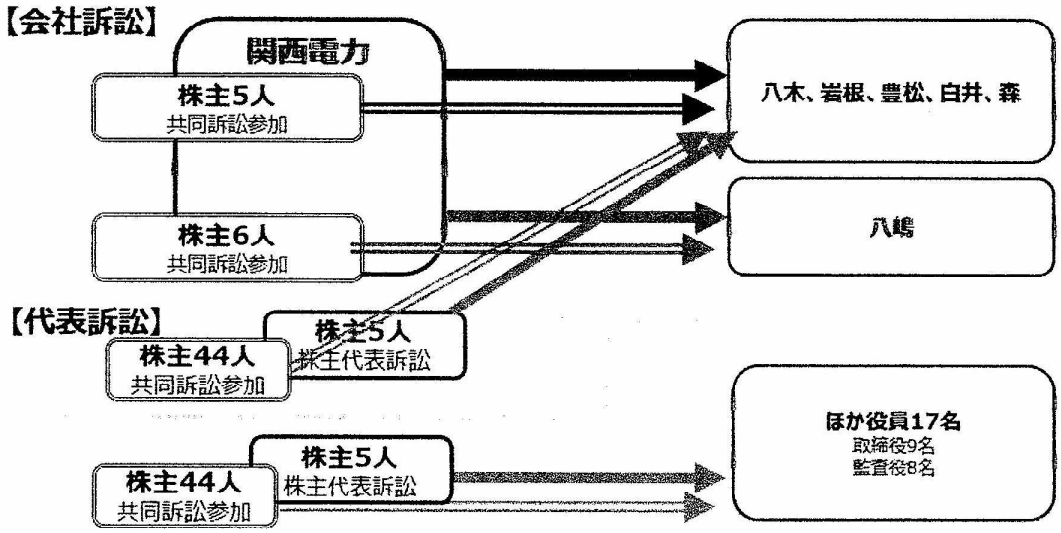
◆大阪地裁…関電会社訴訟（株主提訴併合）。極悪 6 被告（金品受取アンド報酬闇補填）に対し、原告は関電プラス脱原発株主という前代未聞の裁判。
→ 2020/6/16 …関電が、元役員の八木、岩根、豊松、白井、森に対して 19 億 3600 万円の損害賠償を請求する訴訟をおこした。さらに後に、八嶋監査役の業務にも善管注意義務違反があったとして、総額 1 億 7 千万円の損害賠償請求をおこす。被告は計 6 人。

2021/10/6（水）第 1 回口頭弁論。その後、非公開手続きが行われ、第 2 回口頭弁論は、2022/4/18（月）14：00 ～。
（関電株主代表訴訟原告団、関電の原発マネー不正還流を告発する会）

◆大阪地裁…関電株主代表訴訟。脱原発株主が関電幹部 17 被告に損害賠償を請求。

→ 2020/6/23 …脱原発株主が提訴。関電に提訴請求した株主 5 人を原告とし、44 人の株主が訴訟参加した 49 名の原告団で、6 月 23 日に現旧役員 22 名に 92 億円の損害賠償を求める株主代表訴訟を提訴。その後の進行協議で、裁判所から 5 人（森、八木、岩根、豊松、白井）についての株主の訴えは、関電が訴えた会社訴訟と併合してそちらで行うと提案があり、そのように決まった。会社訴訟の原告が、関電と株主代表になる。株主代表訴訟では残る被告１７人について争うことに。

→ 2021/3/16（火）。第 1 回口頭弁論…被告側は一連の金品受領は「預かり保管だった」などとする答弁書を提出し、全面的に争う姿勢。6/4、第 2 回口頭弁論。2022/1/25、14：00 ～第 3 回口頭弁論の予定



	八木元会長	岩根前社長	豊松元副社長	白井元取締役	森元会長	森中前副社長	森本現社長ら2018年度社内取締役8名	八嶋元監査役	元監査役７名
金品受領	○★	○★	○★	○★					
事前発注約束等の不正（還流分は高値発注）	★	★	★	★		★			
適正発注整備義務違反（発注価格は適正）	○	○	○	○					
社内調査の非公表	○★	○★							
役員報酬の闇補填	○★				○★			○★	
追加納税の闇補填	○★	○★							
取締役会への非報告	★	★	★				★	★	★
監査役会への非報告	★	★	★				★		

「○」が関電の訴えた項目、「★」が株主の訴えた項目

▲上の二つの図表は、関電会社訴訟 第一回口頭弁論（2021/10/6）のときの報告集会 配付資料より

◆17◆役員報酬等の闇補填で、国税局から追徴課税

役員報酬等の闇補填

2013 年 5 月と 2015 年 6 月の 2 度にわたる電気料金の値上げに際し、関電は、役員報酬の減額をすると消費者に説明していた。それにもかかわらず、**森詳介**会長と**八木誠**社長（いずれも当時）の判断により、2016 ～ 19 年に、この役員報酬削減分の補填を秘密裏に行っていた（役員ら 18 人に相談役や嘱託を委嘱する形で計約 2 億 6 千万円を支払い）。また、金品受領を所得とみなされ追徴課税を受けた**豊松秀己**元副社長に対しては、その追徴課税分として、さらに月額 30 万円を上乗せすることを、八木会長、**岩根茂樹**社長が決めていた。電気料金を払っている顧客に対する詐欺行為としか言いようがない。

国税局から追徴課税

関電の歴代幹部による役員報酬の闇補填などの問題で、関電は 2021 年 7 月 27 日、大阪国税局の税務調査を受け、2019 年 3 月期までの 4 年間に計約 2 億 700 万円の申告漏れを指摘されたことを明らかにした。

…内訳…(1)森詳介元会長ら 11 人（上記 18 人の中の 11 人）の役員報酬を退任後に補填していた所得隠し 1 億 9800 万円、

(2)子会社「関電プラント」が森山栄治氏に支払っていた 900 万円の顧問報酬も実際は交際費として認定、申告漏れを指摘。国税局は大半を悪質な所得隠しと認定。

(1)は重加算税 700 万円を含む追徴課税が約 3100 万円、(2)は同約 100 万円で、関電は合計 3200 万円を同日納付したという。

不服申し立て

ただし 7 月時点で関電は、不服申し立てを行うか、今後検討するとしていた。9 月 22 日になって、不服申し立てをしないと発表した。関電は「不服申し立てを行うことによる経済合理性などを総合的に勘案した。今後も関係法令に従い、適正な納税に努める」とコメントし、不服申し立てができなかったことを表明している。

刑事告発

役員報酬の闇補填問題では、「**関電の原発マネー不正還流を告発する会**」が元役員らを会社法の特別背任などの疑いで大阪地検特捜部に刑事告発。大阪地検特捜部が告発を受理し、捜査を進めている(2021 年 9 月 23 日現在)。

「原発マネー不正還流で関西電力の経営陣を追及する裁判」については→**◆18◆**

◆16◆卸電力市場で価格暴騰を引きおこす

2020 年 12 月から 2021 年 1 月にかけて、卸電力取引所の価格が暴騰したが、その大きな原因の一つが、関電による市場への売入札絞りにあるとみられる。

巨大な発電設備をもつ大手電力には、卸市場への玉出し（グロスビディング）は事実上の義務であったはずなのに、公表せずに自社判断だけでこれをゼロにした。仕入れたくても卸市場に品がない状態となり、買い手の新電力は焦って高値をつけ（自ら計画した量を確保できない場合は罰金＝インバランス料金を徴収されるので）、市場価格が暴騰した。多くの新電力に多額の損失を与え、一部の消費者にも高額の電気料を強いることになった。関電は、需給調整が難しく、もっとも信頼性の低い電源である原発に過度に依存している結果、電力市場を混乱に陥れ、新電力の経営を脅かしている。

【参　考】

卸電力市場の価格高騰、真の原因は、旧一般電気事業者（関電など大手電力）による売り入札の大幅減にある。グリーンピープルズパワー代表取締役の竹村英明さん

↓

https://energy-shift.com/news/8d7473bc-ed15-40af-8a98-f8278850904c

◆15◆市民団体との対応拒絶、欠ける「お客様」概念

大阪の関電本店では、市民団体の申入などには極力対応しないことで、一貫している。いちおう対応したとしても、当該部署の担当者が出てくることはなく、他部署や、警備員に受けとらせたりする。その場合も、いつも立ち話。椅子のあるへやに通すなどという対応はまったくない。

公益的な企業の顧客対応としてはきわめて異例で、異常としか言いようがない。関電の電気を買っていない人でも、電気代に含まれる託送料金は関電の 100 %子会社＝関西電力送配電株式会社に支払っている顧客である。

原発マネー不正還流（**◆18◆**）に関して 2020 年 3 月 14 日に発表された、関電の第三者委員会の報告書では、関電の「**ユーザー目線**の欠落」が指摘されている（p.188 ～ 189）。同日、関電の森本孝・新社長は、金品受領問題で失われた信頼を取り戻し、内向きな企業体質を変えていく大役を任されたとして、記者会見では「生まれ変わらなければ、明日の関西電力はない。風通しが良く、**お客様目線**の会社にしていく」と力を込めた。残念ながら、大問題だ。

関電に「お客様目線」はない。地域独占と総括原価方式の中で育ってきた現在の経営者に、「お客様」という概念はとうてい無理。

生え抜きの経営幹部に、電力自由化の元で経営能力があるかどうかも大きな疑問。「お客様」という概念が欠如し、社内の力学だけでのし上がってきた生え抜きの経営幹部が、どんな身勝手な行動をとるか。**原発マネー不正還流**で余りにも明らか。

◆14◆福井県知事はドタバタ劇を演ずるダイコン役者　【付 エネ庁の暗躍】

関電は、再稼働の見込みが立たなかった高浜原発 1、2 号機を含めて、老朽原発再稼働に猛進していた。地元同意をとるためには、当該原発が実際に再稼働できるかどうかなどお構いなしであった。

それに振り回された福井県知事は、ドタバタ劇を演じるダイコン役者にされたが、高浜町も関電にコケにされたとしか見えない。

「さんざん高浜町に迫った挙げ句に再稼働できず」→◆13◆

(1)【中間貯蔵施設でごねてみせ】2020/10/22 高浜原発 1、2 号、美浜原発 3 号機の再稼働を巡り、杉本達治 福井県知事は、関電が使用済み核燃料を一時保管する中間貯蔵施設の県外候補地を提示することが同意の「前提」だと主張。12/25、関電は候補地の年内提示は困難と表明したが、2021/2/2 にも改めて主張。「(同意の是非を巡る)議論の入り口に立っていない」と述べた。しかし、2/12 に資源エネルギー庁長官、関電社長と面談するや、再稼働受け入れに転換、2/16 県議会に再稼働論議を要請。ただし議会の自民党は反発。

(2)【やっぱり金が目的】杉本達治 福井県知事は 2021/4/6、畑孝幸 県議会議長と面談し、運転開始から 40 年を超えた原発 1 か所当たり最大 25 億円が国から県に交付されると明らかにした。県への交付金は最大 50 億円となる見通し。後から振り返れば、これは大きな効き目があったことが分かる。

(3)【関電は高浜再稼働が無理と表明】知事の再稼働同意が見えてきたと判断した関電は、4/22、高浜発電所 1、2 号機の特重施設（特定重大事故等対処施設いわゆるテロ対策施設）について、設置期限 6/9 までに完成できないことを表明。知事の原発視察 4/24 の二日前であった。

(4)【知事が原発を視察。Youは何を視察してきたの？】2021/4/24、杉本達治 福井県知事は、運転開始から 40 年を超えた関西電力高浜原発 1、2 号機を視察。冒頭で「県民の目線で安全、安心な対策が取られているか確認したい」と述べた。再稼働の同意判断の材料とするということで、再稼働に向けデジタル式に更新された中央制御盤や、有事の際の対応拠点となる緊急時対策所などを確認したという。高浜 1、2 号機は特重施設（特定重大事故等対処施設いわゆるテロ対策施設）の工事が完成していなくて、後に 4/28 に判明するように、安全対策工事も完了していなかったのに、い

ったい何を確認してきたのか。
Youは何を視察してきたの？
もはや県民目線じゃなくて、金目でしょ。

(5)【知事は既定路線で再稼働に同意】2021/4/28、杉本達治 福井県知事は県庁で記者会見し、運転開始から 40 年を超える関西電力美浜原発 3 号機（美浜町）と高浜原発 1、2 号機の再稼働への同意を表明。

(6)【知事の同意直後に実は無理と発表】福井県知事が 2021/4/28 に同意を表明した直後の 4/30 に、関電は、高浜 2 号機の安全対策工事（40 年超運転に必要）が遅れ、当面の再稼動が不可能になったと発表した。すでに 4/22 には、特重施設（特定重大事故等対処施設いわゆるテロ対策施設）が間に合わないと発表していたが、安全対策工事までも、いつ完了するかわからないと発表。

(7)【関電は再稼働ポーズで核燃料を装荷】2021/5/14、関電は、運転開始から 40 年を超えた高浜原発 1 号機の原子炉に核燃料を装荷する作業を始めた。計 157 体の燃料集合体を入れ、5/17 に完了。ただし、特重施設（特定重大事故等対処施設いわゆるテロ対策施設）が 6/9 の設置期限までに完成しないため、審査は受けることができず、関電が自主的に制御棒が正常に動くかどうかといった点検をするという。6/9 以降に再び原子炉から集合体を取り出す。地元に対する再稼働ポーズにすぎない。

(8)【高浜は約2年間お預け】2021/7/21 の福井新聞によると、関西電力高浜原発 1、2 号機で建設中の特重施設（特定重大事故等対処施設いわゆるテロ対策施設）の完成時期が 2023 年 5 月ごろの見通しであることが 7 月 20 日、関係者への取材で分かったという。特重施設が完成しなければ再稼働できないため、少なくとも約 2 年間は運転できないことになることが明白になった。

【付 エネ庁の暗躍】

老朽原発再稼働に向けては、福井県に対する資源エネルギー庁幹部の激しい裏工作がありました。エネ庁から原発等立地道県への出張は、2019 年 4 月～ 2021 年 2 月 26 日までに、計 517 回にのぼったとのことです。そのうち、福井県は 110 回で、長官の訪問も 3 回ありました。老朽原発再稼働をすすめるために知事や町長から同意を取り付けようと、エネ庁の長官や幹部が裏工作に走り回っていたのです。これらの出張については、その目的や成果などを記録した「復命書」があるはずですが、開示されていません。
（「しんぶん赤旗・日曜版（2021 年 9 月 5 日号）」による）

- **2020年10月から12月**…のべ 27 人のエネ庁幹部が福井入り。
- **10月16日**…保坂長官が杉本知事と面談し、美浜 3 号機、高浜 1、2 号機の老朽原発を再稼働する「40 年超運転」への同意を要請。
- **10月22日**…杉本知事は、関電が使用済み核燃料を一時保管する中間貯蔵施設の県外候補地を提示することが同意の「前提」だと主張。
- **12月25日**…関電は候補地の年内提示は困難と表明。
- **2021年1月～2月17日**…エネ庁幹部、のべ 18 人が福井入り。
- **2月12日**…保坂長官が杉本知事と面談し、むつ中間貯蔵施設共同利用案などを示し、2023 年末までに確定を約束。梶山経産大臣もリモート参加。ただし、むつ市長は「可能性ゼロ」と反発。
- **2月16日**…杉本知事は、県議会に再稼働論議を要請。

◆13◆さんざん高浜町に迫った挙げ句に再稼働できず

関電は、2020 年来、美浜 3 号機および高浜 1、2 号機を再稼働させるとして、立地自治体の議会や首長に同意を要請し、苦悩の選択を迫った。

にもかかわらず、関電は 4 月 22 日に高浜 1、2 号機の特重施設（特定重大事故等対処施設いわゆるテロ対策施設）が完成しないので、当面の再稼働は無理と表明した。

福井県知事が 2021 年 4 月 28 日に再稼働同意を表明した直後の 4 月 30 日には、高浜 2 号機では、安全対策工事までもが遅れていると発表した。こうし

たことから、高浜 1、2 号機は当面の再稼働をすべて断念し、再稼働は 2023 年 5 月ごろになった。

このように、関電は、自社の都合のみで、立地自治体や多くの人々を混乱に陥れる、傲慢極まりない企業といえる。関電に振り回された福井県知事は、ドタバタ劇を演じるダイコン役者にされたが、高浜町も関電にコケにされたとしか見えない。

なお、経産省（近畿経済産業局など）から高浜町への出向者（副町長など）は、2008 年以降で 4 人いる。いずれも、元森山助役のことは知らなかったという。そして、高浜原発のプルサーマル運転は、2010 年から始まり、2011 年から営業運転。

◆12◆中間貯蔵候補地で何回もくりかえす空約束

関電は、使用済み核燃料の中間貯蔵候補地を、2018 年内に福井県外で探すと明言していたが、この約束を反古にし、中間貯蔵候補地提示期限を 2020 年内と再約束して、大飯原発 3、4 号機再稼働への西川前福井県知事の同意をとり付けた。

しかし、関電は、この約束もまた反故にして、使用済み核燃料を増やし続ける原発の運転を継続したのみならず、2021 年 2 月、期限を 2023 年末へとさらに先送りして、老朽原発・美浜 3 号機、高浜 1、2 号機再稼働への杉本福井県知事の同意を取り付け、6 月 23 日、美浜 3 号機を再稼働させた。なお、期限の先送りは、むつ市の中間貯蔵施設の共同利用の可能性を拠り所にしたものと考えられるが、宮下むつ市長はこれを否定し、猛反発している。

中間貯蔵施設を巡るこの間の約束不履行は、今回初めてというわけではない。昔から繰り返されてきた。山崎隆敏さん（若狭連帯行動ネットワーク）によれば、**中間貯蔵施設を県外につくるという関電との約束は、栗田・西川と前任の知事時代から4度反故にされている**という。

（→こちら https://bit.ly/3jhEkzd による。このファイルは美浜 3 号機の燃料プールの話（**◆31◆**）が中心であるが、2 ページ目の後半に中間貯蔵施設について記載がある。）

関電は、何の成算も無く「空約束」をし、平気でそれを反古にする、企業倫理のかけらも持ち合わせない企業であることを裏付けている。

◆11◆特命発注で地元企業に特別の便宜

2021 年 2 月、関電は「**競争入札を経ない発注（特命発注）**などにより地元企業の活用に努める」として、美浜町長の美浜 3 号機再稼働への同意を取り付けた。

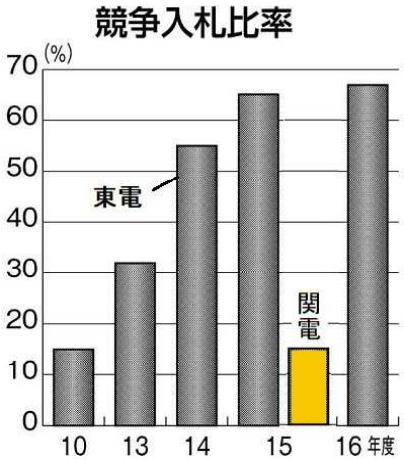
公共性が高く、税金に準じる性質を持つ電気料金で運営される電力会社が、特命発注の乱発など許されるはずがない。これは、関電の経営体質は、**原発マネー不正還流事件（◆18◆）**後に行った「人事刷新」によっても全く変わっていないことを物語っている。

▶関電は競争入札の比率が小さい

東電データ：日刊工業新聞 2017 年 5 月 26 日記事。
関電データ：「電気料金の値上げについて」関西電力 平成 27 年 5 月。
その後の資料は非公開。

右のグラフ、以下の説明文とも、末田一秀さん「環境と原子力の話＞関電の旧役員を市民が提訴」による（http://ksueda.eco.coocan.jp/kabunushi.html）。

2021 年 10 月 6 日 関電の原発マネー不正還流事件、会社訴訟（脱原発株主代表が訴訟参加）の第 1 回口頭弁論における末田一秀さんの意見陳述による。



・福島原発事故を起こした東京電力は賠償金支払いのために、外部から委員を招いて 2012 年に「調達委員会」を設置、資材購入や工事発注で従来慣行を見直して大幅なコストダウンを進めました。1 件当たり 10 億円以上の契約を点検し、改善を指示してきたそうです。その結果、2010 年に 15 %だった競争入札の割合が 2015 年には 65 %になり、調達平均単価は 2016 年度には 2010 年度比 20 %もの減少になったのです。
（参　考：日刊工業新聞）

・対して関電はどうでしょう。2015 年に電気料金を値上げした際に、経産省からさらなる経営効率化を指示され、そのメニューの一つに競争発注比率の拡大があげられていて 15 %を 30 %超にするとされています。

【参　考】

関電幹部は、高浜町の森山栄治元助役から多額の金品受け取っていた（**◆18◆**）が、森山氏はその原資を、関電の原発関連工事を請け負う吉田開発（高浜町）から受けとっていたことが金沢国税局の税務調査で明らかになっている。吉田開発は 2014 年 9 月 1 日から 2017 年末までの間、関電から直接、22 件の工事を請け負っていたが、10 件は入札をしない「**特命発注**」で優先されていた。

◆10◆安全文化の欠如でクレーン倒壊

2017 年 1 月 20 日午後 9 時 50 分ごろ、高浜原発 2 号機で、工事中（老朽原発の再稼働に向けて）のクレーンが倒壊。クレーンブームが原子炉補助建屋ならびに燃料取扱建屋へもたれかかって、屋根が変形した。

工事の元請けの大成建設は暴風警報を把握せず、関電は警報を把握していたが、大成建設へ連絡しなかったため、暴風時に必要なクレーンのアームの折り畳みなどの防止策を取っていなかったという。敦賀労働基準監督署は 23 日、労働安全衛生法に基づき関電と元請けの大成建設関西支店に事故の再発防止対策を求める指導票を交付した。高浜原発の宮田賢司所長と同支店の金井隆夫支店長が敦賀労基署で指導票を受け取った。

福井県庁では**豊松秀己**・関電副社長（原子力事業本部長）が藤田穣副知事に報告した。豊松氏は「県民に多大な心配・迷惑をかけたことを改めて深くおわびします」と頭を下げた。福井県の藤田穣副知事は「安全文化の問題で、今後の運営に信頼が置けない」と批判。京都府の山田啓二知事も関電の監視体制を明記した報告書の再提出を求めた。

この**豊松秀己**・関電副社長（原子力事業本部長）は、2011 年から 2018 年にかけて高浜町の森山栄治助役から 1 億円を超える金品をもらっていた。退任後、関西電力から総額 19 億円を超える損害賠償請求訴訟を受けている。（**◆18◆**）

◆09◆再稼働を急ぐ老朽原発で人身事故が多発

高浜 1、2 号機、美浜 3 号機では、老朽原発再稼働準備作業中に事故が多発している。老朽原発を急いで無理矢理動かそうとして、安全な労働環境づくりを怠ったために起こったもの。

(1) 2019 年 9 月、老朽原発・高浜 1、2 号機の特定重大事故対処施設（いわゆるテロ対策施設）建設用のトンネル内で溶接作業にあたっていた 9 人が一酸化炭素中毒で救急搬送され、4 人が集中治療室に。事故の起こったトンネルには外気を取り込むダクトが設置されていなかった。

(2) 2019 年 9 月、美浜 3 号機では、安全対策工事用の足場が崩れ、2 人が重軽傷を負った。

(3) 2020 年 3 月には、高浜原発 1、2 号機の敷地内にある掘削中の作業用トンネルで、発破準備作業の安全監視中であった協力会社社員が、発破用の火薬を運ぶために後退してきたトラックにはねられ、亡くなった。同社員は耳栓をし、トラックに背を向けていたとのこと。

(4) 2020 年 4 月には、高浜原発 1 号機の安全対策工事を行っていた協力会社の会社員が、脚立から転落し、骨盤を折る重傷を負った。

(5) 2020 年 8 月には社長が労災防止を誓った 3 日後に事故が起こって 9 月 2 日に公表（**◆08◆**）。さらに、2021 年 8 月 18 日にも、高浜原発 2 号機の安全対策工事で協力会社の作業員が転落して負傷（約 1 か月の入院加療）。この事故も、慰霊行事の 9 日後の事故であった。9 月 3 日に公表。

(6) さらに、2021 年 8 月 18 日にも、高浜原発 2 号機の安全対策工事で協力会社の作業員が転落して負傷（約 1 か月の入院加療）。この事故も、慰霊行事の 9 日後の事故であった。9 月 3 日に公表。→（広報「原子力発電所の運営状況について」末尾の方に記載）。
https://www.kepco.co.jp/corporate/pr/2021/pdf/20210903_3j.pdf

(7) 2021 年 10 月 19 日には高浜 1、2 号機の特重施設工事で作業員が重傷を負う労災事故が発生。午後 11 時半ごろ、特定重大事故等対処施設の建設現場で協力会社員がタワークレーンの解体作業中に重傷。時刻が「午後 11 時半ごろ」？　夜中にタワークレーンの解体作業？　それに Web での発表もありません（10 月 23 日現在）。

◆08◆2020年には、社長が「労災防止」を誓った3日後にも重傷労災

2020 年 8 月 12 日には、美浜原発 3 号機で安全対策工事中の協力会社社員が、足場から転落して重傷を負った。安全帯を付けていなかった。同様な事故は、2020 年 8 月 28 日、大飯原発 3 号機でも起きている。老朽原発再稼働を急いでいるために、発生した労災。

この年 8 月の 2 事故は、2004 年 8 月 9 日に美浜 3 号機で発生した 2 次冷却水配管の破損により 5 人が死亡し、6 人が重傷を負った事故（**◆04◆**）の慰霊行事（2020 年 8 月 9 日）で、森本関電社長が「労災防止」を誓った直後に起こったもの（慰霊行事は毎年 8 月 9 日に開催）。8 月の 2 件の労災事故について、関電は 9 月 2 日になって発表した。さすがに、すぐには発表できなかったということか。

▼2020年8月9日、森本社長が「労災防止」を誓う。毎年恒例の慰霊行事。2020年8月9日の慰霊行事（写真）の直後、12日と28日に労災事故が発生したが、さらに翌年も2021年8月9日の慰霊行事の直後の18日に労災事故が発生している（◆09◆）。「安全の誓い」はどうなっているのか。

「安全の誓い」の石碑の前で誓いの言葉を読み上げる森本社長＝美浜町の関西電力美浜原発で
（中日新聞、2020年8月10日）

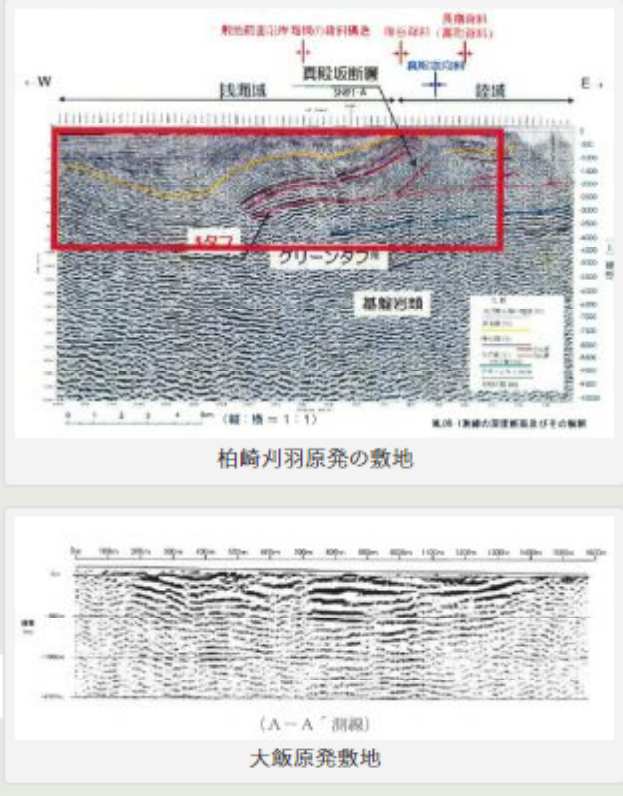
◆07◆裁判にみる関西電力の劣化～地下構造図の縮尺を１：４にして提出

大津地裁で行なわれている大飯・高浜・美浜原発運転差止滋賀訴訟では、原告側は各原発敷地の地下構造を問題としており、その重要性の根拠として、東京電力が、2007 年中越沖地震で柏崎刈羽発電所の解放基盤表面で基準地震動 450 ガルを大幅に超える 1699 ガルの地震動を記録したことの原因の一つとして、敷地地盤における褶曲（しゅうきょく）構造の存在を挙げていることを指摘した。

関西電力は、2019 年５月 28 日付準備書面（44）でこれに反論し、柏崎刈羽原発敷地の反射法地震探査の結果は、「非常に大きく畝（うね）っており、顕著な褶曲構造を呈している」が大飯原発敷地の反射法地震探査の結果は、「地震動を顕著に増幅させ得るような畝りではない」と主張し、二つの図を並べた（下左図）。

なるほど、これを見比べると関西電力の主張にも一理ありそうである。しかし、これにはトリックがあった。縦横の縮尺が上段は１対１なのに対し、下段は１対４だったのである。下段の図を縦横１対１に補正すると右図のようになる。

▼上段が柏崎刈羽原発敷地、下段が大飯原発敷地

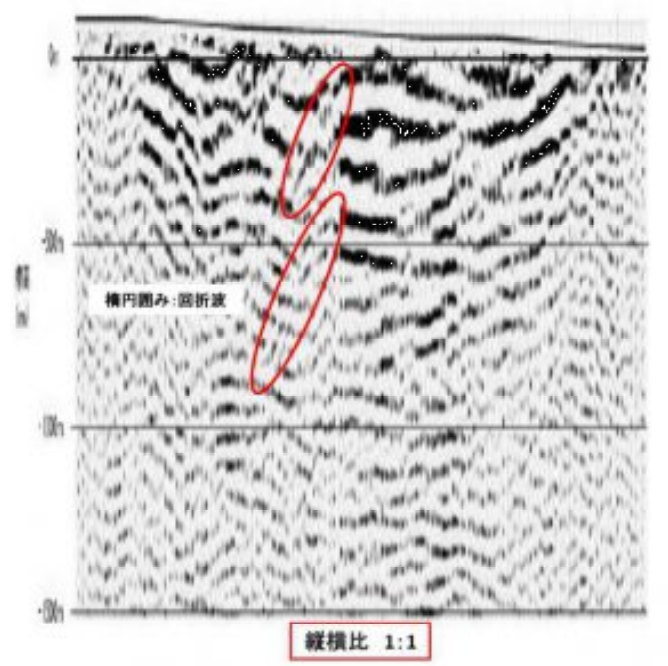


柏崎刈羽原発の敷地

（A－A´測線）

大飯原発敷地

▼補正後の図



縦横1対1に補正した大飯原発敷地

こういうものを世間では「子ども騙し」という。関西電力の劣化は隠しきれない。

（以上、「井戸謙一、大飯・高浜・美浜原発運転差止滋賀訴訟弁護団長。週刊金曜日 2019 年 12 月 20 日・2020 年１月３日合併号」による）

◆06◆大飯原発1、2号機の突然の廃炉決定

2017 年 12 月、関電は、福井県やおおい町に相談することなく、突然かつ勝手に大飯原発 1、2 号機の廃炉を決めた。

地元のおおい町は寝耳に水。これでは、町政も混乱。このような事態が生じるのであれば、原発立地自治体は、その将来設計が描けなくなる。原発立地町は、突然の原発廃止のように、相互信頼を顧みな

い関電や国に対して、今でもその意向に逆らわずに、原発政策を続けている。

おおい町担当者の発言『100 万 kW を超える巨大炉の廃炉は、町財政、地域経済に大きな影響を及ぼすことは事実であり、2018 年 11 月には町、県と事業者との間で、事業者が安全対策をはじめ、地域振興対策を継続的に実施する旨を記載した「廃止措置等に関する協定」を締結しました。今後この協定に基づき、住民の安全安心を第一として信頼関係をを崩すことなく、原子力行政に取り組んでいきます。』（「老朽原発うごかすな！実行委員会」による）

◆05◆『関西電力 反原発町長 暗殺指令』

『関西電力 反原発町長 暗殺指令』は、齋藤真著、宝島社。2011 年 12 月発行。amazon の紹介は以下の通り→ https://amzn.to/3grhinV

14 基の原発が立ち並ぶ福井県・若狭湾沿岸の“原発銀座”。関西電力の高浜原子力発電所で異常な出来事が起こっていた。獰猛な“原発警備犬”が、完全犯罪の凶器に使われようとしたのだ。国内初の「プルサーマル」（プルトニウムとウランを混合した燃料、MOX 燃料を燃やす原子力発電）に固執する“高浜原発の天皇”。ことごとく“天皇”に反発する地元高浜町の町長……。「喉元を犬にくいちぎらせたれや」。“天皇”から、完全犯罪を命じられた警備会社幹部が町長を追尾する……。

取材対象の告発者が実名で登場しているにもかかわらず、関西電力側が黙殺している。2008 年春の『週刊現代』の 2 回に亘る特集記事。2011 年末の本書の初版発行の何れの場合も関西電力は沈黙を守る。他の報道機関も一切の追加報道をしていない。そして告発者が恐喝容疑で逮捕され、有罪判決を受けている。裁判の過程で、キーマン K の証言が残っている。

以下は『関西電力「反原発町長」暗殺指令』（235～237 ページ）より

「大阪地裁で開かれた第一回公判（2009 年 8 月 20 日）で、検察側証人として証言台にたった K はこんなことを喋っている。

弁護人－ところであなたは先ほどの主尋問で出た高浜町長を襲うというような話を冗談で 1 回話したことがあるという話をしていましたね。

K －はい。

弁護人－よく判らないんだけれども、のりを狙って町長を襲えるかというのはどういう意味ですか？

K －のりを狙ってじゃなくて。

弁護人－あなたがそうおっしゃたんで聞いているんですけど。

K －私がいうたのは、周りの人間で、それまで、いわゆるそのときの町長、それが原子力の反対とか、いろんな形のことで、それから町内の業者の自分の反対の会社の仕事を減らせよ、とかいろんな形をいうてきておったので、彼ら自身も非常にその人に対して余りいい気持ちをもっておらなかったと、これは町長が替わるほうがいいでという気持ちを持っておったんで、そういう気持ちで先に会議をしてましたんで、それで一言、私がちょっと失言してしまった訳です。のりというのは、そのとき受けるかなというのを思ったわけです。

弁護人－受けを狙っていうような話だと思いますか。

K －冗談ですよ。

弁護人－冗談で言えるような話だと思いますかと聞いているんです。

K －それは私の失言だと思います。非常に反省しております。」

┌──────────────────────
佐高信「この国の会社」～関西電力の『反原発町長暗殺指令』を振り返る
https://www.nikkan-gendai.com/articles/view/money/286686/2
↓　↓
森山事件が発覚した時、突如売れ出してベストセラーになったのが斉藤真著『関西電力「反原発町長」暗殺指令』（宝島社）である。オビには「犬を使って殺（や）れ！」とあり、「ミステリーを超えた戦慄ノンフィクション」とうたう。2011 年 12 月の発行。高浜町が舞台で、暗殺指令の対象となったのは当時の町長の今井理一。関電の K という首脳の依頼で原発の警備会社を始めた加藤義孝と犬のブリーダーの矢竹雄兒が警備犬を使って今井を暗殺しようとしたことを斉藤に打ち明け、それは『週刊現代』に 2 回に分けて掲載された。
ところが、同年 8 月 25 日、加藤と矢竹は突然、恐喝容疑で逮捕される。関電と警察がつるんで臭いものにフタをしようとした疑いが濃厚で、この事件には関電と政界のパイプ役として暗躍した元副社長の内藤千百里（ちもり、**◆35◆**）の息子もからんでいる。（敬称略）
└──────────────────────

┌──────────────────────
『関西電力「反原発町長」暗殺指令』西成物語～日雇い労働者の町・西成から物言う
↓
http://hanamama33.blog130.fc2.com/blog-entry-508.html
└──────────────────────

┌──────────────────────
この『関西電力「反原発町長」暗殺指令』の中に出てくるキーマンというべき K は、誰か？
→こちら。
└──────────────────────

┌──
◆04◆美浜原発3号機で 死亡5名、重軽傷6名の重大事故
└──

2004 年 8 月 9 日、美浜原発 3 号機で二次冷却系の復水系配管が通常運転中に破裂する事故が発生した。

2004 年 8 月 9 日午後 3 時半頃、通常運転中の 3 号機二次冷却系の復水系配管が第 4 低圧給水加熱器と脱気器との途中で突然破裂、高温高圧の二次系冷却水が大量に漏れ出して高温の蒸気となって周囲に広がった。

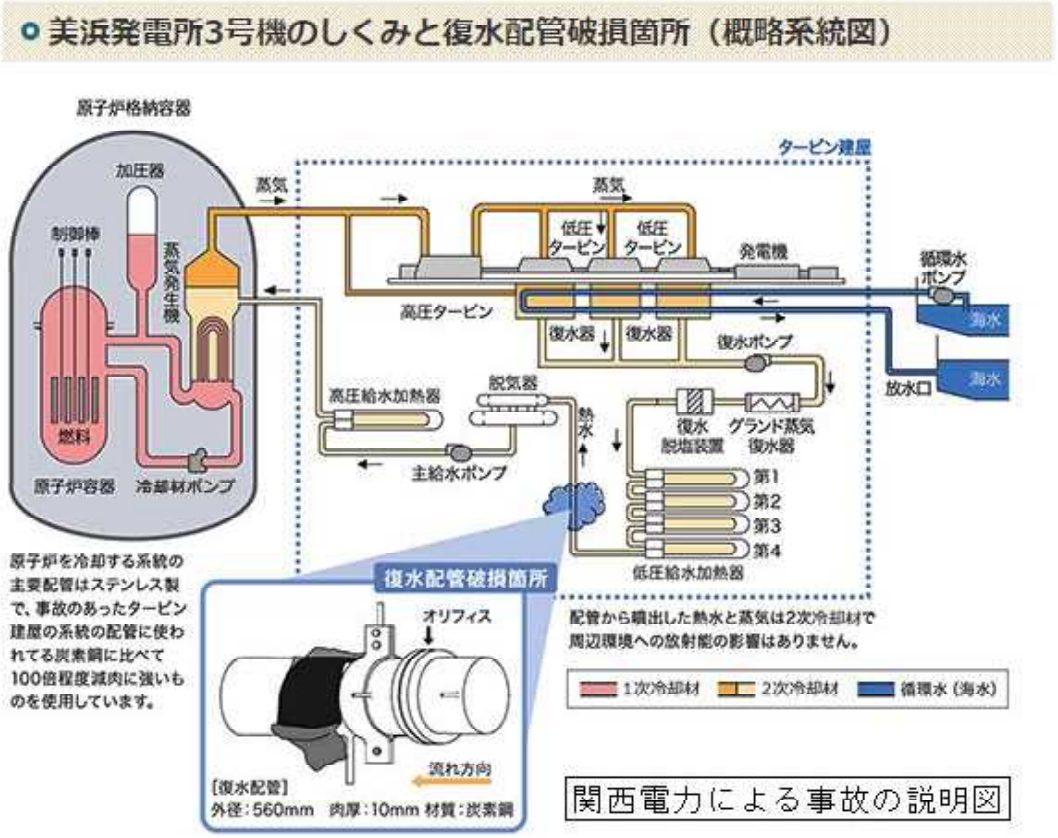
事故当時、現場のタービン建屋内では、定期点検の準備のため、211 人が作業をしており、問題の配管室内には 11 名の作業員がいた（定期点検を急ぐため、まだタービンが回っているのに建屋内に入っていた）。事故直後に死亡した 4 名の死因は全身やけど（熱傷）および、ショックによる心肺停止で、ほぼ即死に近い状態だったとされる。また、事故から 17 日目の 8 月 25 日には、全身やけどを負っていた作業員 1 名が死亡したため、最終的には死亡 5 名、重軽傷 6 名となった。

破裂の個所は稼動以来の 27 年間一度も点検さえ行われていなかった。運転中の原子力発電所における死亡事故としては国内初、原子力関連施設での死者としては東海村 JCO 臨界事故以来 7 人目であり、関西電力の危機管理能力が問われている。

この事故は原子力施設における労働災害として極めて重大であり、国内の原発事故史上初の「重大災害対策本部」が設置された。放射線被曝による死亡事故ではないため、国際原子力事象評価尺度での事故評価は、当初「0+」となっていたが、後に安全管理不適切として「1」に変更された。

（Wikipedia。守田敏也さん「明日に向けて 1883」などによる）
（国際原子力事象評価尺度［INES］
→ https://bit.ly/3y62pND）

▼美浜発電所3号機のしくみと復水配管破損個所
https://www.kepco.co.jp/energy_supply/energy/nuclear_power/m3jiko/about.html



【参　考】
原子力の科学館あっとほうむ｜福井原子力センター｜情報誌「あっとほうむ」の
「原子力情報・データ No.151」に事故個所の説明図が掲載。
http://www.athome.tsuruga.fukui.jp/nuclear/information/athome/151/t_01.html

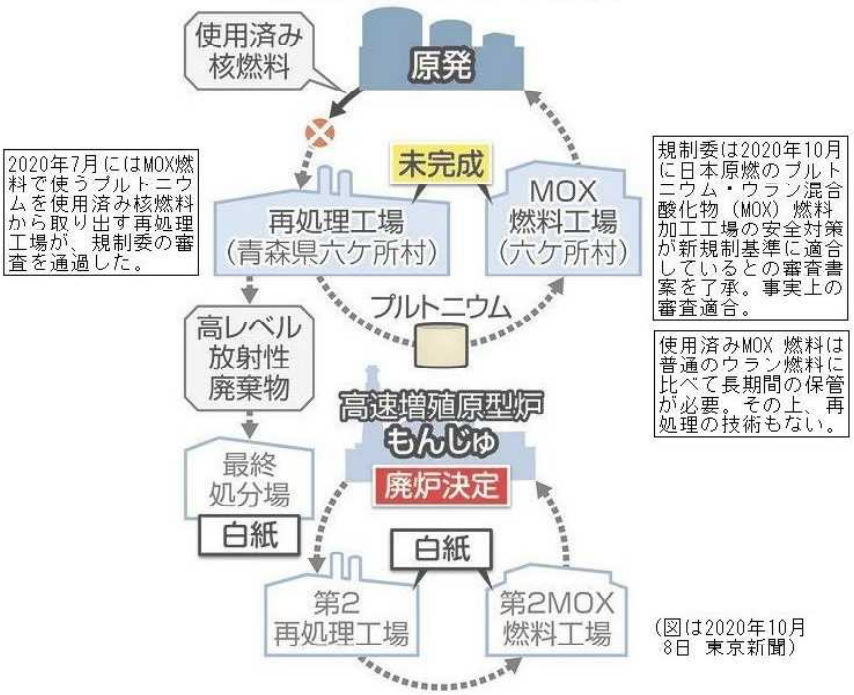
【参　考】
守田敏也さん「明日に向けて（1883）」。美浜原発 3 号機配管破断による 5 人死亡 6 名重軽傷事故を振り返る
美浜原発で 2004 年 8 月 9 日に死傷事故発生
https://blog.goo.ne.jp/tomorrow_2011/m/202009/1

◆03◆高浜原発用の ＭＯＸ 燃料製造データ改ざんを隠ぺい　【付 ＭＯＸ燃料】

1999 年 9 月 14 日、高浜原発 3 号機に使用予定だった MOX 燃料ペレット（イギリス原子燃料公社［BNFL］製造）の寸法データが改ざんされていることが明らかになった。データの偽造は、22 ロット分。関電は独自の抜き取り調査を行っていたが、偽造を見抜けなかったとしている。発覚当時、高浜 4 号機用の MOX 燃料が日本へ向けて輸送中であったが、国と関電は 1999 年 9 月 24 日、現地調査に基づく中間報告を発表した。この報告書は、高浜 3 号機用のデータ改ざんを認めたが、高浜 4 号機用の MOX 燃料については不正はないとしていた。しかし、その後、4 号機用の燃料でもデータのねつ造が判明した。

関電は翌 2000 年 1 月に、1999 年 10 月の段階で 4 号機用燃料でのデータ改ざんの疑惑について情報を得ていたが、BNFL からの不正はないとの連絡を受けて、12 月まで通産省や福井県に報告していなかったことを発表したとしている。つまり、不正があったという報告を受けていても、それを福井県をはじめ一般に公開せず握りつぶしていた。

▼破綻した核燃料サイクルの現状



（図は2020年10月8日 東京新聞）

以上、「BNFL 製 MOX 燃料品質保証データ不正事件」。なお、東芝は 2006 年にアメリカの原子炉メーカー大手のウエスチングハウス（WH）を買収したが、売り手は 1999 年に WH を買収した BNFL であった。イギリス政府は 2002 年以来、原子力産業のリストラを行い、政府資産の削減を進め、BNFL も 2010 年に廃止された。

（Wikipedia、グリーン・アクション、美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会などによる）

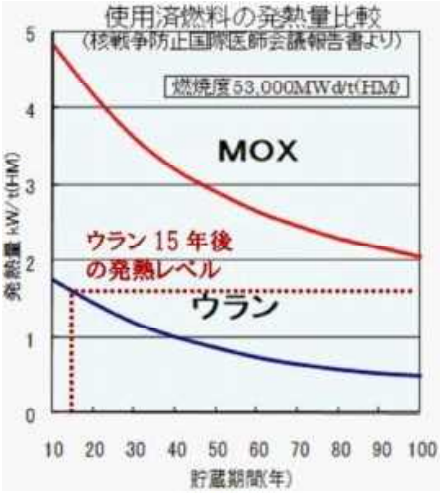
【付 ＭＯＸ燃料】

以下は、2019 年 6 月 21 日に行われた「玄海原発プルサーマルと全基ををみんなで止める裁判の会」「原子力規制を監視する市民の会」などによる政府交渉の報告。★は経産省資源エネルギー庁の発言。

＜政府交渉報告＞原発の使用済み燃料問題・使用済みＭＯＸ冷却に 300 年以上！
→ http://kiseikanshi.main.jp/2019/06/23/143333/

使用済み MOX 燃料のトイレ問題～発熱量がウラン燃料と同等になるのに「300 年以上」・資源エネ庁に根拠を聞いてみた。
→ http://kiseikanshi.main.jp/2019/08/20/225225/　（次ページ図も）

・市民側は、**使用済ウラン燃料を乾式貯蔵所に移すためには燃料プールで15年間冷却する必要があり、これと同等の発熱量になるのは、使用済ＭＯＸ燃料の場合は100年以上プールでの冷却が必要**であることを指摘しました。



┌──経産省資源エネルギー庁─
★使用済MOX燃料が使用済ウラン燃料と同等の発熱量となるのに
「300年以上かかるのは事実」
└──────────────────────

・交渉で、参加者がいちばん驚いたのが、プルトニウム燃料（MOX 燃料）をプルサーマルで用いた後の使用済 MOX 燃料の発熱量が、使用済ウラン

燃料と同等になるのに 300 年以上かかることをエネ庁が明言したときでした。こちらで示した資料は 100 年までしかなく、100 年以上かかりますねと聞いた答えがこれでしたので、なおさらでした。ウラン燃料ですら、使用後 15 年経って発熱量が下がってからでないと、乾式貯蔵に回すことはできません。使用済 MOX 燃料は、300 年以上経たないと再処理はおろか、運搬することもできないことになります。

・使用済み MOX 燃料は発熱量が高いため乾式貯蔵施設にも入れられませんが、国は「使用済ウラン燃料の 15 年後と同等の発熱量まで下がるには 300 年かかる」と言いました。その間、ずっと原発サイトのプールで保管するのでしょうか？　誰がどうやって安全に保管するのでしょうか？　処理方法は「研究開発段階」とのこと。伊方原発でも高浜原発でも、使用済み MOX 燃料が出てきています。玄海原発でももうすぐ出てくるのです。

（ただし、後でこの「300 年」については「過去の報道の内容を申し上げたもの」と否定）

┌──経産省資源エネルギー庁─
★使用済MOX燃料を処理するための
第二再処理工場は「目途は立っていない」
└──────────────────

・使用済 MOX 燃料の再処理は、現在の六ヶ所再処理工場では技術的にできないため、第二再処理工場で行うことになっています。しかし、エネ庁に対して、技術的な目途はあるのかと問うと「目途は立っていない」と答えました。

・プルサーマルにより出てくる使用済 MOX 燃料は、原発サイトのプールで 300 年以上冷やし続けなければならないことになります。原発を抱える地元の住民にしてみればたまったものではありません。300 年間、冷やしたあとの処理方法も決まっていないのです。

┌──経産省資源エネルギー庁─
★中間貯蔵・乾式貯蔵後の使用済燃料の
「行き先は決まっていない」
└──────────────────

・交渉では、六ヶ所再処理工場の稼働期間について、日本原燃が 40 年としていることをエネ庁に確認しました。中間貯蔵・乾式貯蔵への搬出時には、六ヶ所再処理工場は操業が終っています。審査中のむつの中間貯蔵施設について、申請書では搬出先について、「契約者に返還する」としか書いていないことを規制庁に確認しました。第二再処理工場の目途はたたず、中間貯蔵・乾式貯蔵後の使用済燃料の行き場がないことが改めて確認されました。

【2021年、ＭＯＸ燃料の輸送】

（以下、「老朽原発うごかすな！実行委」木原壯林さんによる）

2021 年 9 月 9 日の報道によれば、高浜原発 3、4 号機で使用する MOX 燃料を積んだ船が 8 日、フランス北西部のシェルブール港を出発したとのこと。そして、11 月 17 日に高浜原発に到着しました。

・この燃料の製造は、関電がフランスの企業「オラノ」に依頼していたものです。フランスから日本への MOX 燃料の輸送は 7 回目（高浜原発へは 4 回目）で、福島原発事故以降では 3 回目です（前回は 4 年前です）。この MOX 燃料は、港から 20km 離れた「アレバ」の施設から、数 10 台の車両とヘリコプター 1 機に護衛された 2 台のトラックで夜明け前に港に運び込まれたそうですが、車列が港に到着する直前には、グリーンピースの約 20 人が横断幕を掲げて抗議デモを行い、車列に発煙弾を投げつけたそうです。

・高浜原発では現在、3 号機で 20 体、4 号機で 20 体の MOX 燃料が使用されていて、両機ともに、炉心の 3 分の 1 までの使用が認可されています（全燃料体は 157 体）。現在 MOX 燃料を使用して、プルサーマル運転を行っている原発は、玄海 3 号機（2009 年から）、伊方原発 3 号機（2010 年から）、高浜原発 3 号機（2011 年から）、4 号機（2016 年から）の 4 基です。

・原発は事故確率の高い装置ですが、MOX 燃料を使用してプルサーマル運転すれば、以下のような理由で、重大事故の確率さらに高くなります。

① 燃料被覆管が破損しやすい。例えば、酸素と結合し難い白金族元素が生成しやすく、余った酸素が被覆管を腐食します。また、核分裂生成物ガスとアルファ線であるヘリウムガスの放出が多く、燃料棒内の圧力が高くなり、被覆管を破損させやすくなります。

② MOX 燃料では、中性子を吸収しやすいアメリシウムの生成量が多く、原子炉の運転や停止を行う制御棒やホウ酸の効きが低下します。

③ 核燃料の不均質化（いわゆるプルトニウムスポットの生成）を招きやすい。

④ MOX 燃料では、中性子束（中性子密度）が大きく、高出力で、過渡時（出力の増減時）に原子炉の制御が難しくなる。

⑤ 使用済み MOX 燃料の発熱量は、ウラン燃料に比べて下がり難い。そのため、使用済みウラン燃料の 4 倍以上も長期にわたって燃料プール内で水冷保管しなければ、空冷保管が可能な状態になりません。なお、燃料保管プールが脆弱であり、冷却水を喪失しやすいことは、福島原発 4 号機のプールが倒壊寸前であった事実からも明らかです。

危険きわまりない MOX 燃料の搬入を許してはなりません！ MOX 燃料搬入阻止の闘いを準備しましょう！

関電は、老朽原発・美浜 3 号機を再稼動し、高浜 1、2 号機の再稼動を画策し、高浜 3、4 号機のプルサーマル運転を強行しています。危険極まりないこれらの原発の運転を許してはなりません！「老朽原発廃炉」を勝ち取り、プルサーマル運転を阻止し、原発全廃へと前進しましょう！

【ＭＯＸ燃料は高価でプルサーマルに経済合理性はない】

MOX 燃料は、経済性も悪い。

・2013 年 6 月輸送の MOX 燃料は、1 体当たり 9.3 億円

・2011 年 3 月輸送のウラン燃料は、1 体当たり 1 億円。MOX は、9.3 倍。

その詳細(1)…『電力と政治（上）』（上川龍之進，勁草書房，2018）によると

↓

◆ MOX 燃料は価格が高く，プルサーマルに経済合理性はない。電力会社は「契約に関わる事項」などとして MOX 燃料の価格を公表していない。だが，財務省の貿易統計で輸送費や保険料を含むとされる総額が公表されている。それを輸入本数で割ると，MOX 燃料（燃料集合体）は一本あたり，2010 年と 2013 年では 7 億～ 9 億円台になり，2013 年 6 月に高浜原発に搬入されたものは，一本 9 億 2570 万円となった。

◆それに対しウラン燃料の価格も非公表だが，同様の方法で計算すると，2013 年 10 月輸入分は一本 1 億 259 万円で，同年 6 月輸入の MOX 燃料は，その約 9 倍の高値ということになる。要するにプルサーマルには，余剰プルトニウムを増やさないという目的しかないのである。そのうえ，使用済み MOX 燃料は六ヶ所村で建設中の再処理工場では処理できない。将来，第二処理工場が建設予定ではあるが，その見通しは立たず，使用済み MOX 燃料の処分方法は決まっていない。

その詳細(2)… 2016 年 2 月 28 日 朝日新聞によると

↓

◆使用済み核燃料を再処理して作るウラン・プルトニウム混合酸化物（MOX）燃料は，通常のウラン燃料より数倍高価なことが，財務省の貿易統計などから分かった。再稼働した関西電力高浜原発 3，4 号機（福井県）などプルサーマル発電を行う原発で使われるが値上がり傾向がうかがえ，高浜で使う MOX 燃料は 1 本約 9 億円となっている。

◆プルサーマル発電は使用済み核燃料から取り出したプルトニウムを再利用する国の核燃料サイクル政策の柱とされる。核兵器に転用できるプルトニウムの日本保有量（47.8 トン）を増やさない狙いもあるが，国内の再処理施設は未完成なうえ，コスト面でも利点が乏しいことが浮き彫りになった。

◆電力各社は「契約に関わる事項」などとして MOX 燃料の価格を明らかにしていないが，貿易統計で輸

送費や保険料を含むとされる総額が公表されている。それを輸入本数で割ると，MOX 燃料 1 本あたり 2 億 604 万～ 9 億 2570 万円。時期でみると，1999 年の福島第一は 1 本 2 億 3444 万円なのに対し，直近の 2010 年と 2013 年は 7 億～ 9 億円台。13 年 6 月に高浜に搬入されたものは 1 本 9 億 2570 万円となった。

◆ウラン燃料の価格も非公表だが，同様に 1998 年 7 月輸入分は 1 本 1 億 1873 万円。2013 年 10 月の輸入分は同 1 億 259 万円で，13 年 6 月輸入の MOX 燃料はこの約 9 倍にあたる。

◆02◆美浜原発2号機で緊急炉心冷却装置（ECCS）が作動

1991 年 2 月 9 日、美浜原発 2 号機（現在は廃炉）の蒸気発生器の伝熱管 1 本が破断し、原子炉が自動停止する事故が発生した。この事故は日本の原子力発電所において初めて ECCS が実際に作動した。

事故の原因は、伝熱管の振動を抑制する金具が設計通りに挿入されておらず、そのため伝熱管に異常な振動が発生し、高サイクル疲労（金属疲労）により破断に至ったものと判明した。この金具は点検対象とされていなかったことも一因とされる。

この事故により微量の放射性物質が外部に漏れたが、周辺環境への影響はなかったと発表されている。また、美浜沖の海水から、通常なら数 Bq/L より少ないトリチウムが、2 月 10 日に 470　Bq/L、2 月 18 日にも 490　Bq/L 検出された。国際原子力事象評価尺度（INES）はレベル 2 と判定された。レベルの低い「事故」は「事象」や「逸脱」にしてしまうような“厳密な”尺度。
（国際原子力事象評価尺度［INES］→
https://bit.ly/3y62pND、Wikipedia による）

【参　考】「東電という会社は…」

東京電力福島第一原発 2 号機は 1992 年 9 月 29 日、全給水喪失事故を起こし、緊急炉心冷却装置が作動した。ところがこの事故報道の際、同じ福島第一原発 2 号機で 1981 年 5 月 12 日に同様の全給水喪失事故で緊急炉心冷却装置が作動していたことが明らかになった。これが日本の原発で最初の緊急炉心冷却装置作動事故と思われるが、現在までこの事故の詳細は明らかにされていない。

とりわけ、事故記録類は、この原子炉の履歴や寿命を判断するため、また、原子炉の安全運転を行うための重要な資料であるが、東京電力株式会社では、生のチャート類を含め、1981 年事故時の生データは保存していないと回答している。

以上は、東京電力福島第一原発 2 号機の緊急炉心冷却装置作動事故に関する質問主意書、提出者 鈴木 久さん（日本社会党）、1993 年 6 月 16 日
↓
https://www.shugiin.go.jp/internet/itdb_shitsumona.nsf/html/shitsumon/a126016.htm

【参　考】わが国においてECCSが作動した事故・故障（～2004年5月）

原研（日本原子力研究開発機構、JAEA）の Web サイトによれば、わが国の原子力発電所において緊急炉心冷却系（ECCS）が作動した事例は、1970 年の軽水型原子力発電所運転開始から 2003（平成 15）年度までに、5 件ある。ただし、1 件を除いた他の 4 件はいずれも誤信号の発生又は誤操作に起因した事象によって作動したもので、運転が停止された以外の影響は生じていない。

美浜 2 号機で 1991 年 2 月に発生したものは、蒸気発生器の伝熱管が 1 本破断するという事故に起因して作動した事例である。しかし、安全審査の段階で評価されていた通りに安全系統が作動し、事故の拡大に繋がることもなく周辺への影響も無視しうる程度に収めることが確認された、として、安全を強調している
ttps://atomica.jaea.go.jp/data/detail/dat_detail_02-07-02-01.html

(1) 1979. 7.14、関西電力（株）大飯 1 号機。定格出力運転中、「冷却材ポンプ遮断機トリップ」の誤信号が発生して、原子炉が自動停止した。

さらに、主蒸気逃がし弁が作動して主蒸気管相互の圧力に不均衡が生じた結果安全注入信号が発信しECCSの一つである「高圧注入系」が作動した。しかし、系統から冷却水の流出はなかった。

(2) 1981. 5.12、東京電力（株）福島第一、2号機
(3) 1981.11.19、東京電力（株）福島第二、1 号機
(4) 1991. 2. 9、関西電力（株）美浜2号機
(5) 1992. 9.29、東京電力（株）福島第一、2号機

【参　考】ECCSを避けたい動機

「東日本地震が発生してから、津波が福島第一原発に到達するまでの約 50 分間に、最初に起動しておくべきだった原子炉の緊急冷却装置を起動しなかったのはなぜか」。

『福島第一原発 メルトダウンまでの50年』の著者・烏賀陽（うがや）弘道氏に聞く。
→ https://diamond.jp/articles/-/89088?page=4

◆01◆美浜原発1号機で核燃料棒が折損するも隠ぺい

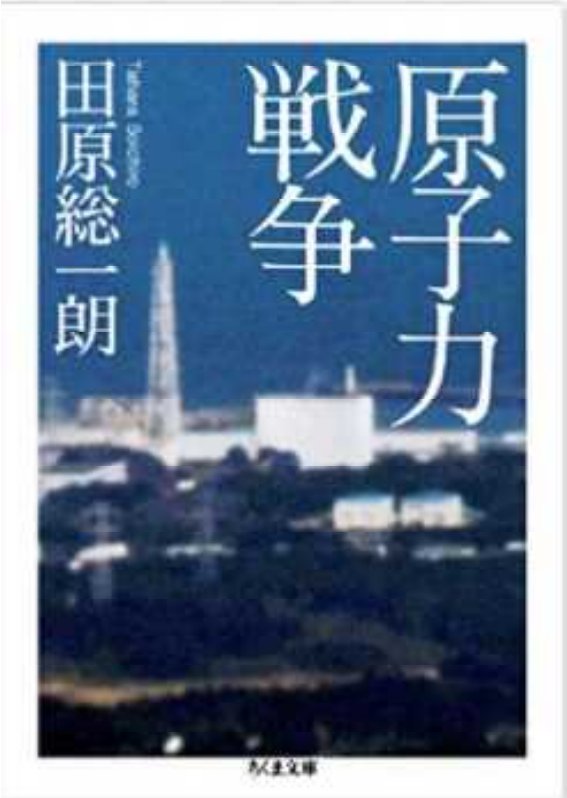
1973 年 3 月、美浜原発 1 号機（現在は廃炉）において核燃料棒が折損する事故が発生した。しかしこの事故は当初外部には明らかにされず、関西電力は秘密裏に核燃料集合体を交換しただけであった。

この事故が明らかになったのは、当時、雑誌『展望』に「原子力戦争」を連載していた田原総一朗さんに宛てて内部告発があったためという。田原さんはこれを「美浜一号炉燃料棒事故の疑惑」として明らかにした。これを受けて、衆議院議員の石野久男さん（日本社会党）が衆議院科学技術振興対策特別委員会などで追及した結果、原子力委員会はこの事故を認めた。しかし、原子力委員会が認めたのは1976 年 12 月 7 日であり、事故が発生してから 4 年近く経った後であった。

内部告発では、この事故は核燃料棒が溶融したものと指摘していたが、原子力委員会の発表ではこれは溶融ではなく「何らかの理由で折損」したものであり、「重大な事故ではない」としている。

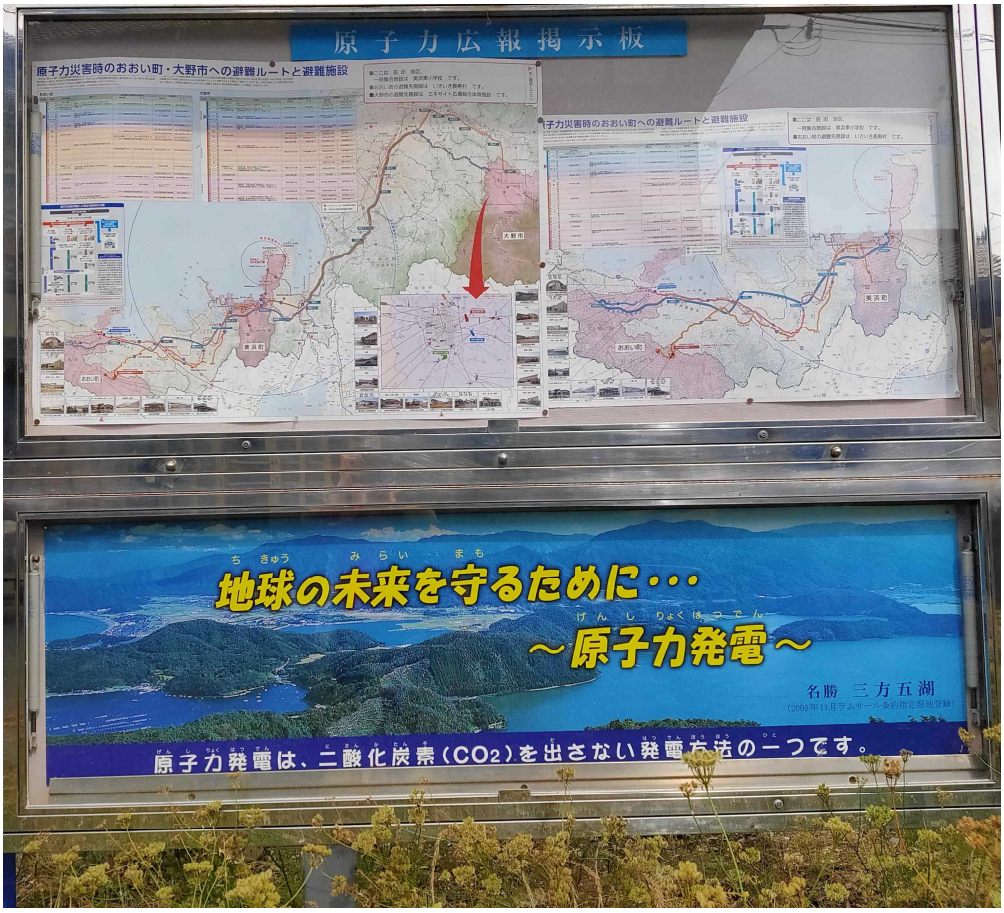
しかし、田原さんはこの発表に対し「原子力戦争」の追記で、「この発表の内容はもとより発表前後の経過にも、つじつまの合わない点や新たな疑惑が数多く指摘されており」と疑問を投げかけている。

（おもに Wikipedia による）



（『原子力戦争』は講談社文庫、ちくま文庫。
https://amzn.to/2WkvQP4）

▼モニタリングポストの横に避難の地図を掲示する「原子力広報掲示板」
（美浜町にて）
［ 処理のできない放射能ゴミを残して、地球の未来、美浜町の未来を守ることができるのか ］
［関電の未来を守るために…原子力発電］



◆この冊子の内容を掲載しているWebサイト◆

→ https://bit.ly/2WmtQ9d （左記の短縮アドレスは大文字と小文字の区別が必要です）
Webサイトが最新の内容となっています。できるだけWebサイトをご覧ください
原発の電気はいらない署名＠関西 ＞ 関電と原発 ＞ 関電という会社は…

老朽原発うごかすな！実行委員会
［Blog］https://blog.goo.ne.jp/takahamakarakanden
連絡先：木原壯林［E-Mail］kiharas-chem@zeus.eonet.ne.jp［Tel］090-1965-7102

原発の電気はいらない署名＠関西
〒600-8061 京都市下京区富小路通仏光寺下ル筋屋町 141 使い捨て時代を考える会 気付
［Web］https://syomeiweb.wordpress.com/
連絡先：吉田めいせい［E-Mail］meisei@pp.iij4u.or.jp［Tel］090-5660-2416

発行：2021年11月21日 Ver.7